

平成29年度

事業報告書

(自)平成29年 4月 1日

(至)平成30年 3月31日

●平成29年度 社会福祉法人 釧路のぞみ協会事業計画

- 【 目 的 】
- 多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう 創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことが出来るよう支援することを目的とする。
- 【 経 営 の 原 則 】
- 社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正におこなうために、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに 事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

平成29年度 社会福祉法人 釧路のぞみ協会 法人運営計画表

	理事会・評議員会	監事会(監査)	役員研修会等	会議その他	関連事項
4月					辞令交付式(4/3)
5月	第1回理事会	平成28年度第4四半期(決算)		第1回施設長会議 第1回運営検討委員会	
6月	第1回定時評議委員会		社会福祉法人経営セミナー		決算・現況報告書開示
7月					
8月		平成29年度 第1四半期(経理・運営全般)		第2回施設長会議 第2回運営検討委員会	
9月	第2回理事会		役員・評議員研修会		
10月					
11月		平成29年度 第2四半期(経理・運営全般)		第3回施設長会議 第3回運営検討委員会	
12月	第3回理事会		役員・評議員研修会		
1月					新年挨拶
2月		平成29年度 第3四半期(経理・運営全般)		第4回施設長会議 第4回運営検討委員会	
3月	第4回理事会				
備考			研修報告会(随時)	施設経営状況の開示(随時) 事業計画会議(随時)	

平成29年度 社会福祉法人 釧路のぞみ協会 運営事業

釧路のぞみ協会													
自立センター						さわらび学園					はしどい学園		
指定相談支援事業所 自立センター	ジョブコーチ事業	くしろ・ねむる障がい者 就業・生活支援センター ぶれん	自立センター グループホーム ブルミエ	くしろジョブ リカバリーセンター ぶろぐれ	くしろジョブ コミュニケーションセンター れぼぜ	くしろジョブ トレーニングセンター あらんじえ	プロムナード 釧路	社会就労センター らびい	障がい者支援施設 さわらび学園			はしどい学園 分場	はしどい学園
指定一般相談支援事業 指定特定相談支援事業 指定障害児相談支援事業	第1号型職場適応援助者事業	障がい者就業・生活支援センター事業	共同生活援助事業 （外部委託型）	自立訓練事業	就労継続支援B型事業	就労移行支援事業	共同生活援助事業 （介護サービス包括型）	就労継続支援B型事業	短期入所事業	生活介護事業	施設入所事業	就労継続支援A型事業	就労継続支援B型事業
			定員 38名	定員 7名	定員 33名	定員 36名	定員 38名	定員 30名	定員 4名	定員 40名	定員 40名	定員 20名	定員 30名

平成29年度 社会福祉法人釧路のぞみ協会 事業報告

平成30年3月31日

【理事会】

開催日	主な協議事項	出席
平成29年6月1日	平成28年度各会計決算(案)について・平成29年度各会計補正予算(案)について・平成29年度釧路のぞみ協会運営指針について・各規程の一部訂正について	5名
平成29年6月22日	理事長・常務理事の選任について	決議の省略
平成29年9月21日	最低賃金について・新築移転計画について	5名
平成29年12月21日	平成29年度各会計補正予算(案)について・はしどい学園のサービス区分変更について・定款の一部改正について・役員等報酬規程の一部改正について・パートタイマー職員の時給額、準職員の俸給額について	4名
平成29年3月22日	平成29年度各会計補正予算(案)について・平成30年度各事業計画について・平成30年度各資金収支予算(案)について・各規程の一部改正について	6名

【評議員会】

開催日	主な協議事項	出席
平成29年6月22日	平成28年度各会計決算(案)について・定款の一部変更について・役員等報酬規程について・理事、監事の選任について	6名
平成30年1月9日	定款変更について・役員等報酬規程の変更について	決議の省略

【監査】

開催日	内容	主な指摘事項
平成29年5月11日	平成28年度決算	償却資産の残高を必ず台帳と照合すること
平成28年8月29日	平成29年度第1四半期	特記事項なし
平成29年11月28日	平成29年度第2四半期	預金残高の確認 諸規程の誤字・誤植の整備をすること
平成30年2月15日	平成29年度第3四半期	書類の整備・編纂等に改善の余地がないか検討することが望ましい

【会議等】

開催日	内容	主な協議事項
平成29年5月16日	平成29年度 第1回 施設長会議	平成28年度決算監査報告・経理規程の改正について・役員等報酬規程について・平成28年度決算報告書について・社会福祉充実残額について・平成28年度事業報告書について・平成28年度消費税の按分について
平成29年5月23日	平成29年度 第1回 運営検討委員会	平成28年度決算監査報告・経理規程の改正について・役員等報酬規程について・平成28年度決算報告書について・社会福祉充実残額について・平成28年度事業報告書について

平成29年8月29日	平成29年度 第2回 施設長会議	平成29年度第1四半期監査報告・各事業所報告事項・最低賃金について
平成29年9月11日	平成29年度 第2回 運営検討委員会	平成29年度第1四半期監査報告・各事業所報告事項・最低賃金について
平成29年10月24日	平成29年度 第3回 運営検討委員会	各事業所報告事項
平成29年12月7日	平成29年度 第3回 施設長会議	平成29年度第2四半期監査報告・理事会議案について・各事業所報告事項
平成29年12月18日	平成29年度 第4回 運営検討委員会	平成29年度第2四半期監査報告・理事会議案について・各事業所報告事項
平成30年2月8日	平成29年度 第4回 施設長会議	職員関連について・平成30年度昇格者・特別昇給について・パートタイマー就業規則の一部改正について
平成30年3月5日	平成29年度 第5回 運営検討委員会	平成29年度第3四半期監査報告・理事会議案について・プロムナード釧路に携わる職員の早・遅手当について・高齢、介護を必要とする利用者のグループホームについて
平成30年3月8日	平成29年度 第5回 運営検討委員会	平成29年度第3四半期監査報告・理事会議案について・プロムナード釧路に携わる職員の早・遅手当について・高齢、介護を必要とする利用者のグループホームについて

【研修等】

開催日・開催地	主催	内容等
平成29年9月5日 帯広市	北海道社会福祉協議会・北海道社会福祉法人経営者協議会	●北海道における公益的な取組について 講師：松本 賢司 氏 中村 健治 氏（社会福祉法人北海道社会福祉協議会） ●計算書類が語るいみとは 講師：小田 伸一 氏（小田伸一税理士事務所 所長） ●労働紛争の実情から求められる役員の責務とは 講師：北島 春雄 氏（北島社会保険労務士事務所 代表）
平成30年1月24日 札幌市	税理士法人さくら総合会計	●改正労働法（有期雇用の無期転換）・最新の労務トピック ●社会福祉法人の消費税・源泉所得税

平成29年度 社会福祉法人釧路のぞみ協会 はしどい学園 事業報告

1. 事業の目的

指定就労継続支援A型及び指定就労継続支援B型の円滑な運営を図るとともに、利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立った適切なサービスの提供を確保することを目的とする。

2. 運営の方針

指定就労継続支援A型及び指定就労継続支援B型事業の実施に当たって事業所は、別途利用者と
の契約に基づき、利用者の意向、適正、障害の特性その他の事情を踏まえた個別支援計画を作成して、
利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生
産活動その他の活動の機会を通して、その知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適
切かつ効果的に行うものとする。

3. 事業の概要(生産活動の提供)

(1) 指定就労継続支援B型(はしどい学園本体)

① 珍味販売

各種珍味の袋詰め、昆布の袋詰め等の請負作業

② 手芸品の作成

卒業・入学用の胸章作り、歳時等に則した作品作り

③ 包製作業

各種箱折り、割り箸の袋詰めの請負作業

④ 昼食作り

施設利用者の昼食作り、提供

⑤ 施設外就労

業務委託契約を締結した企業へ出向いての就労作業

(2) 指定就労継続支援A型(はしどい学園分場)

① オフセット印刷の受注・販売

名刺、封筒、帳票、年賀状、パンフレット等の各種オフセット印刷

② プレート彫刻

ネームプレートの彫刻・ピン付け、タオル・カレンダー等の受注販売

③ 廃油石けんの製造・販売

食用の廃油を利用して石けんの製造・販売

④ 請負作業

段ボールの中仕切り加工、シール貼り等の請負作業

⑤ 施設外就労

業務委託契約を締結した企業へ出向いての就労作業

4. 利用定員と職員配置

- (1) 利用定員 はしどい学園本体～就労継続支援B型 30名(現員37名)
はしどい学園分場～就労継続支援A型 20名(現員26名)
- (2) 職員配置 はしどい学園本体～○管理者1名 ○サービス管理責任者1名(管理者兼務)
○生活支援員2名 ○職業指導員7名 ○栄養士1名
○目標工賃達成指導員1名 ○事務員1名(合計13名)
はしどい学園分場～○管理者1名(本体と兼務)○サービス管理責任者1名
○生活支援員2名 ○職業指導員2名(合計5名)

5. 年度の重点

- (1) 障害者虐待防止法を遵守するとともに、障害者差別解消法に基づき合理的な配慮を実施する。
- (2) 個別支援計画に基づく支援とケース会議によるサービス内容の検証を行う。
- (3) 外部研修等に参加し、職員の支援スキル、支援意識の向上を図る。
- (4) 指定就労継続支援A型の移転及び指定生活介護事業の新規設立に向けての研究・研修を実施する。

社会福祉法人 釧路のぞみ協会 はしどい学園分場

平成30年3月31日現在

1.職員の状況

職 種 勤務形態	施設長 (管理者)	サービス管理 責任者	目標工賃達成 指導員	生活支援員	職業指導員
常 勤 専 従	1	1	0	0	1
常 勤 兼 務	0	0	0	0	0
非 常 勤 専 従	0	0	0	1	5
非 常 勤 兼 務	0	0	0	0	0
合 計	1	1	0	1	6

2.利用者の状況

(1)年齢別在籍者数

定員	現員	平均年齢			最高齢	最年少
		男性	女性	全体		
20名	25名	35.6	39.4	37.0	56歳	18歳

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	計(人)
男	1	3	5	7	0	0	0	0	16
女	1	0	4	3	1	0	0	0	9

(2)上記利用者在籍期間

期間 性別	1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～25年 未満	25～30年 未満	30年以上	計(人)
男	1	2	0	1	6	2	0	3	1	16
女	1	0	0	0	2	4	1	1	0	9

(3)利用の状況(人)

	前年度から 継続利用	本年度中の 新利用者数	生活の場				
			家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	14	2	14	0	0	2	0
女	8	1	9	0	0	0	0

※その他の内訳()

(4)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場				
		家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	1	0	0	0	1	0
女	1	1	0	0	0	0

※その他の内訳()

(5)障害の状況

①障害種別(手帳保持者重複計上)

	身体障害	知的障害	精神障害	合 計
男	1	16	0	17
女	0	9	0	9
計	1	25	0	26

※自立支援医療受給者証保持者 0人

②障害支援区分

	区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他
男	0	1	5	10	0	0	0	16
女	0	0	6	3	0	0	0	9
計	0	1	11	13	0	0	0	25

(6)健康管理实施状况

実施項目	実施日	対象者数(人)
歯牙検診	平成30年1月13日	5
健康診断	平成29年10月4日	22
インフルエンザ予防接種	平成29年11月15日・22日	17

(7)利用者状況

	定員	現員	区分							
			区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
はしどい学園分場	20名	25名	0	1	11	13	0	0	0	25

(8)事業実施状況]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
営業日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269

[illegible]

3.防災

①防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	実施時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	29年5月	火災	日中	○	○	○	・火災が発生した想定で屋外の安全な場所まで避難する訓練を実施。終了後に消火訓練を実施。
避難訓練	29年8月	地震津波	日中	—	—	○	・地震発生に伴う津波の避難勧告が出された想定で地域の避難所まで避難する訓練を実施。
避難訓練	30年1月	火災	日中	○	—	○	・火災が発生した想定で屋外の安全な場所まで避難する訓練を実施。

4.人材の育成

①施設内研修実施状況

実施日	研修テーマ	参加人数
平成29年6月27日	・はしどい学園マニュアルについて ・障害者虐待防止法について	4名
平成29年8月26日	・障がいの理解 ・障がい福祉サービスについて	5名
平成29年11月17日	・施設利用者の方々との関わりを考える(研修報告)	5名
平成29年11月25日	・ADSの方が自分らしく豊かに生きるために～支え・寄り添うための知恵と勇気を学ぶ～(研修報告) ・福祉専門職のためのキャリアアップ研修(研修報告)	6名
平成30年1月20日	・インシデントについて	4名
平成30年2月14日	・AEDを使用した心肺蘇生講習	2名
平成30年2月17日	・虐待防止について	5名

②施設外研修実施状況

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成29年6月4日	・就労移行支援事業所等職員向け研修	社会福祉法人福祉楽団理事長 (株)恋する豚研究所代表取締役 飯田 大輔氏	1名
平成29年12月2日	・釧路市障がい者虐待防止研修会	大阪府立大学大学院 人間社会システム科学研究科 准教授 三田 優子氏	4名

5.組織づくり

①職員会議開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
個別支援・モニタリング会議	毎月1回	・個別支援計画・モニタリングに関する会議
職員会議	毎月1回 隔月	・次月行事計画、ケース会議、職員研修 ・健康会議

6.主要行事

4月	・第1回父母懇談会	10月	・道東ミニバレーボール大会(生田原) ・セレクト活動
5月	・セレクト活動	11月	・セレクト活動
6月	・釧路・根室地区パークゴルフ大会	12月	・第3回父母懇談会 ・セレクト活動 ・忘年会
7月	・セレクト活動 ・第2回父母懇談会	1月	・セレクト活動
8月	・セレクト活動 ・合同避難訓練	2月	・セレクト活動
9月	・利用者旅行(札幌方面1泊) ・利用者旅行(阿寒湖方面日帰り)	3月	・セレクト活動

平成29年度 社会福祉法人釧路のぞみ協会 さわらび学園 事業報告

1. 事業の目的

利用者が、安心かつ安全に生活し諸活動が営めるように、個人の意思や人格・権利を尊重し、自立した社会生活を保障するとともに充実した社会参加活動を促進し、利用者の幸せを追求することを目的とする。(安全・安心な事業利用の保障、人権の尊重、幸せの追求)

2. 運営の方針

(1) 共に生きる意識

常に利用者と時や空間を共有する姿勢を絶やさず、共に支え合い、共に生きるという意識を持って支援に当たる。

(2) 支援の個別化

利用者個々が持てる能力を充分に発揮し、自主的かつ主体的に生活し諸活動が行えるよう、個別支援計画の充実と支援技術・体制の向上を図る。

(3) 家族の安心と希望

利用者の家族との連携を重視し、家族が安心し希望が持てるように、十分な協議や説明を行い、理解と同意に基づいた支援を行う。

(4) 関係諸機関との連携

法人、各市町村や地域、他の福祉・医療サービス提供事業者、関係諸団体等と綿密な連携を図りながら業務を行う。

(5) 自己評価

常に支援内容の評価に努め、リスク検証や苦情解決システムを用い、利用者の立場に立った支援内容・体制等の確立に努めると共に、利用者の権利擁護をしていく。

3. 事業の内容

(1) 障がい者支援施設 さわらび学園

- ①指定施設入所支援施設
- ②指定生活介護事業(日中活動事業)
- ③指定短期入所事業

(2) 社会就労センターらびい

- ・指定就労継続支援事業B型

(3) プロムナード釧路

- ・指定共同生活援助(介護サービス包括型)

4. 年度の重点

- (1) ケース会議、個別支援計画会議の充実、個別支援マニュアルの充実。各種研修の実施。
(自閉症スペクトラム・強度行動障害・高齢者について等)
- (2) 各事業所(課・係)において、円滑な運営を維持できるよう精査すると共に、改善に努める。
(連携の強化、業務の簡略化・簡素化、省力化・節約、利用収入の研究等)
- (3) 施設・共同生活の生活支援内容・体制の充実。
- (4) 作業工賃について、設定額の向上に努める。
(社会就労センターらびい就労継続支援事業B型)
- (5) 活動系・訓練系の事業の支援メニュー内容の充実と定着を図る。
- (6) 利用者の権利擁護に努め、継続した研修等を実施する。
他施設・事業所の視察研修、各事例研究、各種研修参加。
(企業のマナー、福祉、権利擁護について、虐待防止の研修等)

社会福祉法人 釧路のぞみ協会 障がい者支援施設 さわらび学園

平成30年3月31日現在

1.職員の状況

職 種 勤務形態	施設長 (管理者)	サービス管理 責任者	嘱託医	看護師	栄養士	生活支援員	事務員
常 勤 専 従	1	1	0	2	1	11	0
常 勤 兼 務	0	0	0	0	0	1	1
非 常 勤 専 従	0	0	1	0	0	15	0
非 常 勤 兼 務	0	0	0	0	0	2	2
合 計	1	1	1	2	1	29	3

2.利用者の状況

【施設入所支援事業】 障がい者支援施設さわらび学園

(1)年齢別在籍者数

定員	現員	平均年齢			最高齢	最年少
		男性	女性	全体		
40名	40名	50.0歳	50.1歳	50.0歳	76歳	28歳

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	計(人)
男	0	1	4	3	7	4	1	0	20
女	0	3	2	3	7	4	1	0	20

(2)上記利用者在籍期間(新体系に移行してからの在籍期間)

期間 性別	1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～25年 未満	25～30年 未満	30年以上	計(人)
男	0	1	2	17	0	0	0	0	0	20
女	0	2	2	16	0	0	0	0	0	20

(3)入所の状況(人)

	前年度から 継続入所	本年度中の 新入所者数	入所前の生活の場				
			家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	20	0	0	0	0	0	0
女	20	0	0	0	0	0	0

※その他の内訳()

(4)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場					次年度 継続入所
		家庭	他施設	病院	グループホーム	その他	
男	0	0	0	0	0	0	20
女	1	0	0	0	0	1	20

※その他の内訳()

(5)障害の状況

①障害種別(手帳保持者重複計上)

	身体障害	知的障害	精神障害	合 計
男	3	20	0	23
女	3	20	0	23
計	6	40	0	46

※自立支援医療受給者証保持者 9人

②障害支援区分

	区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他
男	0	0	0	0	2	10	8	20
女	0	0	0	0	3	13	4	20
計	0	0	0	0	5	23	12	40

(6)健康の状況

①服薬の内容

向精神薬物	抗てんかん薬	抗精神病薬	抗不安薬	睡眠薬
	11 人	15 人	14 人	13 人
慢性疾患 1か月以上服用 または治療	心臓疾患	腎臓疾患	糖尿病	喘息
	2 人	0 人	2 人	2 人
	高血圧	泌尿器疾患	内科・消化器科	耳鼻・皮膚科
	3 人	5 人	10 人	12 人

②受診科目の内容

		実人数	延人数
通 院 治 療	精神科	15	156
	脳神経外科	4	16
	内科・小児科	11	84
	外科・整形外科	1	4
	耳鼻咽喉科	5	40
	歯科	2	9
	皮膚科	3	9
	眼科	4	37
	その他	5	38
往 診	皮膚科	23	177
	歯科	34	468
	その他		
計			1,038

③健康管理実施状況

実施項目	実施日	対象者数(人)
内科健診	平成29年4月26日/平成29年9月7日	40
歯科検診	毎週木曜日	40
肺がん検診	平成29年7月5日	40
大腸菌・赤痢菌検査	平成29年8月1日	40
B型・C型肝炎検査	平成29年9月7日	40
胃がん健診	平成29年11月8日	21
インフルエンザ予防接種	平成29年11月10日	41
子宮がん・乳がん検診	平成29年12月7日	5
エキノコックス検査	平成29年2月24日	40

(7)利用者状況

	定員	現員	性別	障害支援区分							
				区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
さわらび学園	40名	40名	男	0	0	0	0	2	10	8	20
			女	0	0	0	0	5	23	12	40

(8)事業実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
利用者実人数	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	40	40	490
利用者延人数	1189	1161	1201	1219	1165	1191	1217	1166	1131	1134	1082	1206	14,062

【生活介護事業】 障がい者支援施設さわらび学園

(1)年齢別在籍者数

定員	現員	平均年齢			最高齢	最年少
		男性	女性	全体		
40名	41名	49.2歳	50.1歳	49.7歳	76歳	28歳

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	計(人)
男	0	1	5	3	7	4	1	0	21
女	0	3	2	3	7	4	1	0	20

(2)上記利用者在籍期間(新体系に移行してからの在籍期間)

期間 性別	1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～25年 未満	25～30年 未満	30年以上	計(人)
男	0	2	2	17	0	0	0	0	0	21
女	0	2	2	16	0	0	0	0	0	20

【短期入所】レスポワールさわらび学園

(1)利用者状況

	定員		利用状況											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期入所	男	2名	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1
	女	2名	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2

	利用状況(男)												計(人)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分4	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	13
区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	利用状況(女)												計(人)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
区分4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	4
区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	5
区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(2)事業実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
利用者延人数	30	33	30	31	39	30	31	30	31	46	60	44	435

3.防災

(1)防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	実施時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	H29.7.13	地震津波	11:00			○	地震発生により津波警報が発令されたため避難車で避難場所まで避難した。
避難訓練	H29.8.3	地震火災	10:00			○	地震発生により厨房から火災が発生したためグラウンドに避難した。
避難訓練	H29.9.6	地震火災	10:40			○	地震発生によりボイラー室から火災が発生したためグラウンドに避難した。
避難訓練	H29.10.16	火災	10:30			○	消防署員立ち合いのもと、夜間にボイラー室から出火を想定しグラウンドに避難した。

4.人権擁護の取組み

(1)虐待防止委員会の開催

開催日	主な協議事項
平成29年4月11日	①利用者からの職員への暴力があったとき、予想されるとき ②利用者の服装、靴の確認、転倒防止
平成29年5月10日	①近況の報告
平成29年6月9日	①利用者からの暴力行為があった場合について ②利用者の服装、靴の確認、転倒防止
平成29年7月6日	①利用者から職員への暴力があったとき、予想されるとき ②利用者の服装、靴の確認 ③利用者が利用者へ指示。利用者が職員の行うことを行ってしまうとトラブルになってしまうことが多い。 ④平成29年6月29日神奈川県虐待事件について ⑤職員の利用者に対する言動について
平成29年8月4日	①近況報告
平成29年9月6日	①利用者からの職員への暴力等。 ②利用者の服装、靴の確認 ③利用者が利用者へ指示。利用者が職員の行うことを行ってしまうとトラブルになることが多い。 ④利用者の事務所の利用について。 ⑤釧路養護学校で虐待あり。別紙資料参照。
平成29年10月11日	①利用者からの職員への暴力等があったとき、予想されるとき。 ②利用者の服装・靴の確認。 ③利用者が利用者への指示。 ④利用者の事務所の利用について。 ⑤虐待防止のパンフレット
平成29年11月9日	①利用者からの職員への暴力などがあったとき、予想されるとき。 ②利用者の服装、靴の確認 ③利用者が利用者へ指示
平成29年12月6日	①利用者からの職員への暴力があったとき、予想されるとき。 ②利用者の服装、靴の確認 ③利用者が利用者へ指示 ④釧路市障がい者虐待防止委員会の研修報告
平成30年1月5日	①利用者からの職員への暴力等があったとき・予想されるとき ②利用者の服装・靴の確認 ③利用者が利用者への指示。利用者が職員が行う事をおこなってしまうとトラブルになる事が多い。 ④障がい者虐待の新聞記事。別紙参照
平成30年2月9日	①利用者からの職員への暴力があったとき、予想されるとき。 ②利用者の服装、靴の確認 ③利用者が利用者へ指示。利用者が職員が行う事を行ってしまうとトラブルになる
平成30年3月9日	①利用者からの職員への暴力があったとき、予想されるとき ②利用者の服装、靴の確認 ③利用者が利用者へ指示。利用者が職員の行う事を行ってしまうとトラブルになることが多

5.人材の育成

(1)施設内研修実施状況

実施日	研 修 テ ー マ	参加人数
平成29年4月14日	①利用者の疾病・アレルギー・禁食に等について ②利用者の投薬状況一覧 ③救急搬送時の利用者情一覧 ④研修会報告 ⑤各委員会からの報告	20名
平成29年5月15日	①各委員会からの報告 ②預り金マニュアル ③接遇について ④権利擁護について ⑤障がい福祉サービスについて、アセスメント、モニタリング、個別支援計画について	18名

平成29年6月13日	①施設内感染対策マニュアルの確認 ②高齢化への対応 ③強度行動障害について ④その他	22名
平成29年7月13日	①各委員会の報告 ②ダウン症の利用者の状況と障がい特性	15名
平成29年8月9日	①自閉症について ②災害避難行動について ③各委員会について	20名
平成29年9月13日	①各委員会からの報告 ②統合失調症について ③強度行動障がいについて ④その他	17名
平成29年10月13日	①各委員会からの報告 ②てんかん発作時の対応	19名
平成29年11月14日	①各委員会からの報告 ②実績記録表の記載について ③職員研修～アンガーマネジメント	22名
平成29年12月15日	①各委員会からの報告 ②虐待防止研修会	22名
平成30年1月11日	①各委員会報告 ②出張報告／発達障がいの特性について ③その他	21名
平成30年2月16日	①各委員会の報告 ②施設見学の報告 ③感染予防研修の報告	19名
平成30年3月12日	①施設見学の報告(ぽこあぽこ) ②各委員会報告	18名

(2)施設外研修実施状況

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成29年5月24日～25日	平成29年度全道施設長セミナー (京王プラザホテル)	(株)イトーヨーカドー執行役員人事室長 兼人事部長 (株)テルベ 取締役 田中 弘樹氏	4名
平成29年5月27日	これからの福祉経営 (釧路町保健福祉センター)	社会福祉法人つばめ福祉会専務理事 高橋 是司氏	1名
平成29年6月4日	就労移行支援事業所等職員向け研修 (釧路プリンスホテル)	社会福祉法人福祉楽団理事長 (株)恋する豚研究所代表取締役 飯田 大輔氏	4名
平成29年7月21日	発達障がいのある方の就労支援 ～働くために今からできること～ (釧路市生涯学習センター)	社会福祉法人はるにれの里 札幌市自閉症・発達障がい支援センター おがるセンター長 西尾 大輔氏	1名
平成29年7月19日	平成29年度 権利擁護セミナー (かでの2.7 かでのホール))	札幌市自閉症自立支援センターゆい センター長 加藤 潔氏 (株)コミュニケーション・デザイン結 代表取締役 桜井 妙氏	1名
平成29年7月20日	社会福祉施設等管理者を対象とした 防災研修会 (釧路市生涯学習センター)	釧路総合振興局創生部地域政策課 危機対策推進員 生江孝 之氏	1名

平成29年7月21日	北海道合同栄養士研修会 (北海道自治労会館)	国立循環器病センター客員教授 都島 基夫氏 (株)LEOCスポーツ栄養事業企画部	1名
平成29年7月22日	TTAP研修2017in釧路 (釧路センチュリーキャッスルホテル)	早稲田大学教育学部心理学専修 教授 梅永 雄二氏 京都女子大学発達教育学部児童学科 教授 臨床心理士 倉本 義則氏	2名
平成29年8月21 日～22日	2017年度第29回全国グループホーム 等研修会 北陸地区大会in福井 (フェニックス・プラザ)	厚生労働省社会・援護局傷害福祉課 地域生活支援推進室 室長補佐 小林 靖氏 立教大学コミュニティ福祉学部 福祉学科 教授 平野 方紹氏	1名
平成29年9月5日	社会福祉法人・社会福祉施設ブロック 研修会 (とちか館)	小田伸一税理士事務所所長 小田 伸一氏 北島社会保険労務士事務所代表 北島 春雄氏	1名
平成29年9月23 日～24日	JC-NET発達障害者就労セミナーin 釧路 (釧路町あいぱーる)	大妻女子大学人間関係学部教授 NPO法人ジョブコーチ・ネットワーク理 事長 小川 浩氏 くしろ・ねむろ障がい者就業・生活支援 センターふれん センター長 高谷さふみ氏 就業・生活支援センターWEL' STOK YO センター長 堀江 美里氏 自閉症ピアリンクセンターここねっと 主任相談員 西田 有吾氏 NPO法人東松山障害者就労支援セン ター 代表理事 若尾 勝巳氏	1名
平成29年10月1日	釧路市「地域で障がい者を支えるための 理解を深める会」研修会 (釧路プリンスホテル)	全国手をつなぐ育成会連合会政策研 究開発センター委員 又村あおい氏	1名
平成29年10月5 日～6日	平成29年度全道グループホーム等スタッ フ研修会 (札幌サンプラザ)	愛知グループホーム連絡会 スーパーバイザー 石元 憲明氏	1名
平成29年10月15日	怒りのマネジメント研修会～アンガー マネジメントの手法を用いて～ (釧路プリンスホテル)	Office夢風車フリーランス ナース& ソーシャルワーカー 土屋 徹氏	1名
平成29年11月10日	北海道合同栄養士研修会 (北海道自治労会館)	藤女子大学教授 中川 幸恵氏	1名
平成29年11月 14日～16日	平成29年度道東知的障がい福祉協会職 員研修会 (生田原温泉ホテルノースキング)	札幌市自閉症自立支援センターゆい 施設長 加藤 潔氏 主任 村木 亮氏	1名
平成29年11月 16日～17日	平成29年度日中活動支援部会職員研修 会(かでの2・7)	浦河ひがし町診療所副院長 高田 大志氏	3名
平成29年11月 20日～21日	平成29年度北海道障がい者虐待防止・権 利擁護研修【施設従事者等研修】 (北海道別館)	胆振圏域障がい者総合相談支援セン ターるびなす 國松 直人氏	1名
平成29年11月21日	成果を上げる、介護職員の採用と定 着(生涯学習センター)	社会保険労務士 介護支援専門員 倉 雅彦氏	1名
平成29年11月23日	大人の発達障がいを考えるーわたしの常 識、あなたの常識ー (かでの2・7)	北海道大学札幌校准教授 齋藤 真善氏 発達障害者支援センターきたのまち コーディネーター 高野 祐子氏	2名

平成29年11月26日	平成29年度 ACT研修会in釧路 (釧路プリンスホテル)	(株)スタートライン障がい者雇用研究 室 室長 刎田 文記氏	2名
平成29年11月27日	知的障がい者の高齢期支援に求めら れる人間学(かでる2.7)	社会福祉法人同愛会 理事長 高山 和彦氏	1名
平成29年12月2日	平成29年度釧路市障がい者虐待防止研 修 (釧路市生涯学習センター)	大阪府立大学大学院 人間社会シス テム科学研究科 准教授 三田 優子氏	13名
平成29年12月 12日～13日	平成29年度日中活動支援部会全国大会 (TOC有明コンベンションホール)	厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 障害福祉課課長補佐 福島 弘和氏 社会福祉法人北海道療育園理事長 岡田 喜篤氏	1名
平成30年1月31日	平成29年度「共生型地域福祉拠点」推 進セミナー (釧路市生涯学習センター)	地域生活支援センター・ハート釧路 施設長 佐々木 寛氏 地域生活支援ネットワークサロン 事務局代表 高橋 信也氏 共生型多機能施設コロイ 副施設長 石川 みゆき氏	1名
平成30年2月27日	平成29年度障害福祉事業経営セミナー (TOC有明コンベンションホール)	全国経営協・障害福祉事業経営副委員長 澤田 和秀氏 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 障害福祉課 立教大学教授 平野 方紹氏	1名
平成30年3月2日	地域共生社会の実現に向けて～今求 められるソーシャルワークの機能 (釧路市生涯学習センターまなぼっと)	厚生労働省社会・援護局 社会福祉専門官 添田 正揮氏	1名
平成30年3月 7日～8日	第2回社会就労センター施設長・職員研 修会/事業所経営セミナー (北海道第2水産ビル)	厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 障害福祉課 就労支援専門官 村山奈美子氏 社会福祉法人北海道光生舎副理事長 三上 洸二氏	1名
平成30年3月 14日～15日	平成29年度全道施設長研修会 (ホテル札幌ガーデンパレス)	立教大学コミュニティー福祉学部教授 平野 方紹氏	1名

6.組織づくり

(1)職員会議開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
職員会議	毎月1回	・次月行事計画、作業評定会議、各作業班からの状況報告 給食会議、各作業班収支状況確認、施設長説明、その他
ケース会議	毎月1回	・個別支援計画に関するケース会議
主任・管理職会議	毎月1回	・職員動向、利用者動向 ・日程、今後の行事について ・その他
管理職会議	毎月1回	・各事業所の運営について ・事業所間の調整
給食会議	毎月1回	・各事業所からの要望 ・給食運営全般に係る会議

(2)各種委員会開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
感染予防委員会	毎月1回	・インフルエンザ、ノロウイルス、熱中症等の予防対策について

身体拘束廃止委員会	毎月1回	・身体拘束に繋がるケース検証事案について
事故防止対策委員会	毎月1回	・防犯対策 ・防災対策 ・交通安全 ・その他

7.主要行事

4月	・誕生会 ・健康診断	10月	・赤い羽根街頭募金 ・家族懇談会 ・釧根ミニバレーボール大会 ・一泊旅行(阿寒湖畔温泉)
5月	・誕生会 ・野外昼食会 ・グラウンド開き ・日帰り旅行	11月	・インフルエンザ予防接種
6月	・一泊旅行(摩周温泉) ・野外昼食会	12月	・子宮がん・乳がん検診 ・クリスマス昼食会 ・忘年会 ・年末休み
7月	・肺がん検診 ・湿原マラソン ・一泊旅行(札幌プロ野球観戦)	1月	・年始休み ・新年お楽しみ昼食会
8月	・避難訓練(地震・火災) ・野外昼食会 ・道東知協アジャタ大会 ・一泊旅行(札幌ミュージカル鑑賞)	2月	・節分昼食会 ・バレンタインディー
9月	・野外昼食会 ・釧根地区ボーリング大会 ・健康診断 ・一泊旅行(登別温泉)	3月	・雛祭り昼食 ・ホワイトデー ・家族懇談会 ・自治会役員選挙

社会福祉法人 釧路のぞみ協会 社会就労センター らびい

平成30年3月31日現在

1.職員の状況

職 種 勤務形態	施設長 (管理者)	サービス管理 責任者	目標工賃達成 指導員	生活支援員	職業指導員
常 勤 専 従	1	1	1	1	1
常 勤 兼 務	0	0	0	0	0
非 常 勤 専 従	0	0	1	3	10
非 常 勤 兼 務	0	0	0	0	0
合 計	1	1	2	4	11

2.利用者の状況

(1)年齢別在籍者数

定員	現員	平均年齢			最高齢	最年少
		男性	女性	全体		
30名	35名	44歳	39歳	42歳	64歳	23歳

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	計(人)
男	0	5	5	4	7	2	0	0	23
女	0	2	6	1	2	1	0	0	12

(2)上記利用者在籍期間(新体系に移行してからの在籍期間)

期間 性別	1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～25年 未満	25～30年 未満	30年以上	計(人)
男	1	3	6	13	0	0	0	0	0	23
女	0	2	1	9	0	0	0	0	0	12

(3)入所の状況(人)

	前年度から 継続入所	本年度中の 新入所者数	入所前の生活の場				
			家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	22	1	0	1	0	0	0
女	12	0	0	0	0	0	0

※その他の内訳()

(4)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場					次年度 継続入所
		家庭	他施設	病院	グループホーム	その他	
男	0	0	0	0	0	0	23
女	0	0	0	0	0	0	12

※その他の内訳()

(5)障害の状況

①障害種別(手帳保持者重複計上)

	身体障害	知的障害	精神障害	合 計
男	2	22	1	25
女	1	10	2	13
計	3	32	3	38

※自立支援医療受給者証保持者 6人

②障害支援区分

	区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他
男	4	0	0	3	10	6	0	23
女	0	1	1	3	4	3	0	12
計	4	1	1	6	14	9	0	35

②健康管理实施状况

実施項目	実施日	対象者数(人)
内科検診(聴診)	平成29年4月26日	33
肺ガン検診(X-P検査)	平成29年7月5日	16
血液検査・心電図検査	平成29年9月14日	35
胃がん検診	平成29年11月8日	14
インフルエンザ予防接種	平成29年11月17日	35
子宮がん・乳がん検診	平成29年12月7日	5

[利用者状況]

	定員	現員	区分							
			区分なし	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
社会就労センター らびい	30名	35名	4	1	1	6	14	9	0	35

[事業実施状況]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
営業日数	20	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	267

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
利用者実人数	34	34	34	34	34	34	35	35	35	35	35	35	414
利用者延人数	738	765	738	766	756	727	792	756	795	785	688	791	9,097
らびい本体 利用者延人数	364	360	353	362	352	325	336	331	320	344	310	360	4,117
施設外就労 利用者延人数	374	405	385	404	404	402	456	425	475	441	378	431	4,980
主な活動	・清掃班(市内福祉施設事業所清掃など) ・ポスティング班(チラシ折り・投函)							・菓子班(菓子製造・販売) ・厨房班(昼食の配膳・下膳)					

3.防災

①防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	実施時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	6月	地震	日中	想定	—	○	釧路沖地震～震度6を想定し、屋外への安全な場所まで避難する訓練
避難訓練	8月	地震 津波	日中	想定	—	○	地震発生に伴う津波の避難誘導警報が出された想定で地域の避難場所まで避難する訓練。
消火訓練	11月	火災	日中	想定	想定	○	厨房内より火災発生したことを想定し、屋外への安全な場所まで避難する訓練。

②安全確保のための点検・会議

項 目	実施日	実施内容
厨房機器保守点検	平成30年2月	厨房班で使用している機器の保守点検・整備・部品交換

4.人権擁護の取組み

<虐待防止委員会の開催>

開催日	主な協議事項
平成29年4月11日	・利用者からの職員へ暴力等があったとき、予想されるとき ・利用者の服装、靴の確認、転倒防止
平成29年5月10日	・利用者からの職員へ暴力等があったとき、予想されるとき ・利用者の服装、靴の確認、転倒防止
平成29年6月9日	・利用者からの職員へ暴力等があったとき、予想されるとき ・利用者の服装、靴の確認、転倒防止 ・利用者が利用者への指示。利用者が職員が行うことでのトラブル
平成29年7月6日	・利用者が利用者への指示。利用者が職員が行うことでのトラブル ・他県で発生した虐待事件について ・職員の利用者に対する言動について
平成29年8月4日	・利用者が利用者への指示。利用者が職員が行うことでのトラブル ・職員の利用者に対する言動について ・利用者の事務所利用について
平成29年9月6日	・職員の利用者に対する言動について ・利用者の事務所利用について ・養護学校での虐待事件について
平成29年10月11日	障がい者虐待防止法について
平成29年11月9日	・利用者からの職員へ暴力等があったとき、予想されるとき ・利用者の服装、靴の確認、転倒防止 ・利用者が利用者への指示。利用者が職員が行うことでのトラブル
平成29年12月6日	釧路市虐待防止研修会の研修報告
平成30年1月5日	・利用者からの職員へ暴力等があったとき、予想されるとき ・利用者の服装、靴の確認、転倒防止 ・利用者が利用者への指示。利用者が職員が行うことでのトラブル
平成30年2月9日	・利用者からの職員へ暴力等があったとき、予想されるとき ・利用者の服装、靴の確認、転倒防止 ・利用者が利用者への指示。利用者が職員が行うことでのトラブル
平成30年3月9日	・利用者からの職員へ暴力等があったとき、予想されるとき ・利用者の服装、靴の確認、転倒防止 ・利用者が利用者への指示。利用者が職員が行うことでのトラブル

5.人材の育成

①施設内研修実施状況

実施日	研修テーマ	参加人数
平成29年4月27日	サービス共通評価基準の実施① 防犯、防災対策について 利用者の誤嚥について	9名
平成29年5月24日	サービス共通評価基準の実施② らびいの今後の事業展開について	10名
平成29年6月21日	虐待防止研修(チェックリストの活用)	9名
平成29年7月26日	知的障がい・発達障がいについて 交通安全について	11名
平成29年8月30日	投薬について 他事業所での障がい者死亡事故について	11名
平成29年9月27日	施設見学の報告(北広島福祉会)第一、第二グループ 弾道ミサイル落下時の行動について	13名
平成29年10月25日	感染予防について 消防法の基準(スプリンクラー設置について)	11名
平成29年11月22日	研修報告(日中活動支援部会職員研修) 人材育成についての要件と特徴について	12名
平成29年12月13日	普通救命救急講習	10名
平成30年1月17日	研修報告(釧路市障がい者虐待防止研修)	12名
平成30年3月17日	交通安全について 感染予防について	11名

②施設外研修実施状況

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成29年9月11日	施設見学(北広島福祉会)		2名
平成29年9月25日	施設見学(北広島福祉会)		3名
平成29年10月1日	釧路市「地域で障がい者を支えるための理解を深める」研修会 (釧路市生涯学習センター)	大阪府立大学大学院 人間社会システム科学研究科 准教授 三田 優子氏	3名
平成29年12月2日	釧路市「平成29年度 釧路市障がい者虐待防止研修会」 (釧路プリンスホテル)	全国手をつなぐ育成会連合会政策研究開発センター委員 又村 あおい氏	6名
平成30年3月7日～8日	第2回社会就労センター施設長・職員研修会(北海道第2水産ビル)	株式会社アムリプラザ 代表取締役 岡山 洋一氏 社会福祉法人光生舎 副理事長 三上 洸二氏	1名

6.組織づくり

①職員会議開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
ケース会議	毎月1回	個別支援計画に関するケース会議
職員会議	毎月1回	次月行事予定、作業評定会議、各作業班からの状況報告 給食会議、作業班収支状況確認、施設長説明、その他
主任・管理職会議	毎月1回	職員動向、利用者動向、日程、今後の行事について、その他
管理職会議	随時	各事業所の運営について、事業所間の調整

②各種委員会開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
感染予防委員会	毎月1回	インフルエンザ、ノロウイルス、熱中症等の予防対策について
身体拘束廃止委員会	毎月1回	身体拘束に繋がるケース検証事案について
事故防止対策委員会	毎月1回	防犯対策、防災対策、交通安全、その他

7.主要行事

4月		10月	らびい利用者旅行第2グループ (札幌、小樽方面) 釧根地区ミニバレー大会
5月		11月	
6月		12月	らびい・グループホーム合同クリスマス会
7月		1月	らびい・グループホーム合同新年会
8月	らびい・プロムナード焼肉レクリエーション	2月	
9月	らびい利用者旅行第1グループ (札幌・小樽方面) 釧根地区ボウリング大会	3月	らびい利用者ご苦労さん会

社会福祉法人 釧路のぞみ協会 プロムナード釧路

平成30年3月31日現在

1.職員の状況

職 種 勤務形態	管理者(施設長)	サービス管理責任者	世話人	生活支援員
常 勤 専 従	1	1	0	3
常 勤 兼 務	0	0	12	12
非 常 勤 専 従	0	1	0	0
非 常 勤 兼 務	0	0	0	0
合 計	1	2	12	15

2.利用者の状況

(1)年齢別在籍者数

定員	現員	平均年齢			最高齢	最年少
		男性	女性	全体		
38名	37名	43歳	41歳	42歳	64歳	23歳

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	計(人)
男	0	3	7	3	9	0	0	0	22
女	0	1	8	2	3	1	0	0	15

(2)上記利用者在籍期間(新体系に移行してからの在籍期間)

期間 性別	1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～25年 未満	25～30年 未満	30年以上	計(人)
男	0	5	1	7	9	0	0	0	0	22
女	1	4	0	7	3	0	0	0	0	15

(3)入所の状況(人)

	前年度から 継続入所	本年度中の 新入所者数	入所前の生活の場				
			家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	22	0	0	0	0	0	0
女	14	1	1	0	0	0	0

※その他の内訳()

(4)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場					次年度 継続入所
		家庭	他施設	病院	グループホーム	その他	
男	2	1	0	0	1	0	22
女	0	0	0	0	0	0	15

※その他の内訳()

(5)障害の状況

①障害種別(手帳保持者重複計上)

	身体障害	知的障害	精神障害	合 計
男	3	20	2	25
女	3	15	1	19
計	6	35	3	44

※自立支援医療受給者証保持者 9人

②障害支援区分

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他
男	1	0	2	13	6	0	22
女	1	2	4	4	4	0	15
計	2	2	6	17	10	0	37

(6)健康の状況

①服薬の内容

向精神薬物	抗てんかん薬	抗精神病薬	抗不安薬	睡眠薬
	3 人	12 人	8 人	5 人
慢性疾患 1か月以上服用 または治療	心臓疾患	腎臓疾患	B型肝炎	糖尿病
	1 人	1 人	1 人	0 人
	高血圧	高脂血症	鉄欠乏性貧血	子宮内膜症
	6 人	2 人	5 人	1 人
	アレルギー性皮膚炎	アレルギー性鼻炎	椎間板ヘルニア	頻尿
	2 人	5 人	1 人	4 人
	胃潰瘍	腰痛症等	緑内障	白内障
	2 人	3 人	1 人	1 人
	脂漏性湿疹	円錐角膜症	内痔核等	水虫
	1 人	1 人	2 人	8 人
	乾燥肌	セルフカテーテル	その他	
	5 人	1 人	15 人	人

②健康管理実施状況

実施項目	実施日	対象者数(人)
内科健診	平成29年4月26日	28
肺ガン健診(X-P検査)	平成29年7月5日	14
血液検査	平成29年9月14日	27
胃がん健診	平成29年11月8日	12
インフルエンザ予防接種	平成29年11月17日	31
子宮がん・乳がん検診	平成29年12月7日	6

③受診科目の内容

		実人数	延人数
通 院 治 療	精神科	17	102
	脳神経外科	4	21
	内科・小児科	20	111
	外科・整形外科	14	83
	耳鼻咽喉科	8	59
	歯科	19	200
	皮膚科	20	173
	眼科	6	17
	婦人課	3	7
	肛門科	4	17
	心臓血管内科	5	9
	泌尿器科	6	29
	その他	6	10
往 診	皮膚科		
	歯科		
	その他		
計			838

[利用者状況]

ホーム名	定員	現員	区分							
			区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他	計
プロムナード昭和北	5名	5名	0	0	0	3	2	0	0	5
プロムナード公園通Ⅰ	3名	3名	1	0	0	1	1	0	0	3
プロムナード公園通Ⅱ	3名	3名	0	0	1	1	1	0	0	3
プロムナード愛国	6名	6名	0	0	0	4	2	0	0	6
プロムナード怜音Ⅰ	3名	2名	0	0	0	2	0	0	0	2
プロムナード怜音Ⅱ	3名	3名	0	0	1	2	0	0	0	3
プロムナード鳥取北	5名	5名	1	1	1	1	1	0	0	5
プロムナード芦野	5名	5名	0	1	2	1	1	0	0	5
プロムナード昭和中央	5名	5名	0	0	1	2	2	0	0	5
合 計	38名	37名	2	2	6	17	10	0	0	37

[事業実施状況]

営業日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
利用延人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
	1,127	1,125	1,119	1,132	1,052	1,024	1,056	1,047	1,074	1,065	991	1,109	12,921
主な活動	・通院支援 ・入浴支援 ・金銭管理 ・個別買い物支援 ・余暇支援 ・クラブ活動(フットサル、ミニバレーボール、水泳、お花サークル、絵画サークル)												

3.防災

①防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	実施時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	29年7月	地震 津波	夜間	想定	—	○	地震発生に伴い、津波勧告が発令されたことを想定し、地域の避難場所まで避難する訓練を実施。
避難訓練	29年12月	火災	夜間	想定	想定	○	グループホームの調理中に火災が発生したことを想定し、屋外の安全な場所まで避難する訓練を実施。
避難訓練	30年3月	地震 火災	夜間	想定	想定	○	地震発生に伴い、火災が発生したことを想定し、屋外の安全な場所まで避難する訓練を実施。

②安全確保のための点検・会議

項 目	実施日	実施内容
消防署の立ち入り検査	29年9月8日	・(GH愛国)消火器点検、煙感知器設置点検他各種点検及び確認
消防署の立ち入り検査	29年9月23日	・(GH昭和北)消火器点検、煙感知器設置点検他各種点検及び確認

4.人権擁護の取組み

<虐待防止委員会の開催>

開催日	主な協議事項
平成29年4月11日	・利用者からの職員へ暴力等があったとき、予想されるとき ・利用者の服装、靴の確認、転倒防止
平成29年5月10日	・利用者からの職員へ暴力等があったとき、予想されるとき ・利用者の服装、靴の確認、転倒防止
平成29年6月9日	・利用者からの職員へ暴力等があったとき、予想されるとき ・利用者の服装、靴の確認、転倒防止 ・利用者が利用者への指示。利用者が職員が行うことでのトラブル
平成29年7月6日	・利用者が利用者への指示。利用者が職員が行うことでのトラブル ・他県で発生した虐待事件について ・職員の利用者に対する言動について
平成29年8月4日	・利用者が利用者への指示。利用者が職員が行うことでのトラブル ・職員の利用者に対する言動について ・利用者の事務所利用について
平成29年9月6日	・職員の利用者に対する言動について ・利用者の事務所利用について ・養護学校での虐待事件について
平成29年10月11日	・障がい者虐待防止法について
平成29年11月9日	・利用者からの職員へ暴力等があったとき、予想されるとき ・利用者の服装、靴の確認、転倒防止 ・利用者が利用者への指示。利用者が職員が行うことでのトラブル
平成29年12月6日	・釧路市虐待防止研修会の研修報告
平成30年1月5日	・利用者の服装、靴の確認、転倒防止 ・利用者が利用者への指示。利用者が職員が行うことでのトラブル ・障がい者虐待に関する新聞記事
平成30年2月9日	・利用者からの職員へ暴力等があったとき、予想されるとき ・利用者の服装、靴の確認、転倒防止 ・利用者が利用者への指示。利用者が職員が行うことでのトラブル
平成30年3月9日	・利用者からの職員へ暴力等があったとき、予想されるとき ・利用者の服装、靴の確認、転倒防止 ・利用者が利用者への指示。利用者が職員が行うことでのトラブル

5.人材の育成

①施設内研修実施状況

実施日	研修テーマ	参加人数
平成29年4月10日	権利擁護について(倫理綱領・行動規範)	7人
平成29年4月17日	利用者支援の視点について	8人
平成29年5月8日	障がい福祉サービスについて	8人
平成29年6月12日	障がい特性について(知的障がい)	8人
平成29年6月26日	熱中症対策、予防について	7人
平成29年7月10日	障がい特性について(発達障がい)	7人
平成29年7月31日	障がい特性について(精神障がい)	8人
平成29年8月28日	第29回全国グループホーム等研修会 北陸地区大会in福井(研修報告)	7人
平成29年9月26日	普通救命救急研修	9人
平成29年10月9日	平成29年度全道グループホーム等スタッフ研修会 「暮らしの中の支援を考える～グループホームを中心に～」(研修報告)	6人
平成29年10月18日	インフルエンザ・ノロウィルス等、感染症対策について	14人
平成29年11月20日	ケースカンファレンス(山田恵氏、伊藤智穂氏、小林尚宏氏)	7人
平成29年12月4日	「ASDの方が自分らしく、そして地域で生活を送るために」(研修報告)	6人
平成30年1月15日	認知症者に対する支援方法について	7人
平成30年2月5日	ケースカンファレンス(今野良昭氏、荒木翔平氏、伊藤順悦氏)	8人
平成30年3月19日	通院を検討する際の状況確認の方法、情報共有・連携方法について	8人

②施設外研修実施状況

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成29年6月4日	自閉症の「バリアフリー」とは (釧路町保健福祉センターあいぱーる)	川崎医療福祉大学 准教授 諏訪 利明氏	7名
平成29年8月21 日 ～ 22 日	第29回全国グループホーム等研修会 北陸地区大会in福井 (フェニックスプラザ 福井県)	厚生労働省 社会・援護局障害福祉課 地域生活支援推進室 室長補佐 小林 靖氏 立教大学コミュニティ福祉学部 福祉学科 教授 平野 方紹氏	1名
平成29年10月1日	地域で障がい者を支えるための理解を深める」研修会 (釧路市生涯学習センター)	全国手をつなぐ育成会連合会 政策研究開発センター委員 又村 あおい氏	2名
平成29年10月5日	平成29年度全道グループホーム等スタッフ研修会「暮らしの中の支援を考える～グループホームを中心に～」	愛知グループホーム連絡会 スーパーバイザー 石元 憲明氏	1名
平成29年11月16日	道東知的障がい福祉協会 職員研修会 「ASDの方が自分らしく、そして地域で生活を送るために」 (生田原温泉 ホテルノースキング)	札幌市自閉症自立支援センター ゆい 札幌市自閉症・発達障がい支援センター おがる 統括管理者 加藤 潔氏	1名
平成29年11月26日	平成29年度ACT研修会in釧路 (釧路プリンスホテル)	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 室長 刎田 文記氏	1名
平成29年12月2日	平成29年度 釧路市障がい者虐待防止研修会 (釧路プリンスホテル)	大阪府立大学大学院 人間社会システム科学研究科 准教授 三田 優子氏	8名
平成30年1月31日	平成29年度「共生型地域福祉拠点」推進 セミナー(釧路開催) (釧路生涯学習センター)	北海道釧路総合振興局保健環境 部 社会福祉課長 古川 智恭氏	2名

6.組織づくり

①職員会議開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
ケース会議	毎月1回	個別支援計画に関するケース会議
職員会議	毎月1回	次月の行事計画、余暇計画、クラブ・サークル活動計画、健康会議 給食会議、施設長より周知事項
主任・管理職会議	毎月1回	職員動向、利用者動向、今後の行事について、その他
管理職会議	毎月1回	各事業所の運営について、事業所間の調整
ホームミーティング	毎月1回	ホーム内の決まりやルールについて、余暇支援について、給食について ホーム内の当番について、その他要望等について

②各種委員会開催状況

会議名	開催回数	主な議題等
感染予防委員会	毎月1回	インフルエンザ、ノロウイルス、熱中症等の予防対策について
身体拘束廃止委員会	毎月1回	身体拘束に繋がるケース検証事案について
事故防止対策委員会	毎月1回	防犯対策、防災対策、交通安全等に関する予防対策について

7.主要行事

4月		10月	・釧路地区ミニバレーボール大会
5月		11月	
6月	・ふれあいビールパーティ ・ふれあい広場	12月	・らびい、グループホーム合同クリスマス会
7月	・湿原マラソン	1月	・らびい、グループホーム合同新年会
8月	・焼肉レクレーション ・グループホーム旅行	2月	
9月		3月	

平成29年度 社会福祉法人釧路のぞみ協会 自立センター 事業報告

1. 目 的

地域に在住する障害を持つ人達に必要なに応じて必要な相談や援助を行い、社会自立の為の支援・指導を行う。

2. 基本方針

総務課及び支援課を設置し自立センターの適正な運営を図る。部門は共同生活援助 自立センターグループホームプルミエと くしろ・ねむろ障がい者就業・生活支援センターぷれん、ジョブコーチ支援事業、相談支援事業 自立センター、くしろジョブトレーニングセンター あらんじえ、多機能型くしろジョブコミュニケーションセンターれぼぜ・ぷあぷ、くしろジョブリカバリーセンターぷろぐれの7領域を併せ持ち、各領域はそれぞれの目的に沿った支援活動を行いながら、部門として互いに協調・連携して一層の成果を期すると共に、必要に応じて施設部門との連携も図る。

3. 宣誓

私たち自立センター職員は、関係法律を遵守するとともに虐待防止につとめ障害者の権利擁護の立場を厳守いたします。

4. 重点目標

- (1)施設運営に係る適正・公正な事務及び会計処理を遅滞なく実施する
- (2)利用者の自己決定と選択を尊重し、権利擁護を実現する
- (3)利用者の尊厳に配慮し特性に応じた良質かつ適切なサービスを提供する
- (4)新規利用者の確保
- (5)センターが目指す職員像を明示し総合的な質の向上を目指します
- (6)コンプライアンスの徹底

5. 事業内容

(1)総務課

- ①会計・経理に関すること
- ②庶務に関すること

(2)支援課

(ア)共同生活援助事業「自立センター グループホーム プルミエ」

外部委託型グループホームの運営

- ①生活全般に対する援助活動
- ②就労に対する援助活動
- ③余暇支援
- ④介護が必要な利用者の外部委託業務
- ⑤関係諸機関・地域との連携

(イ)相談支援事業「自立センター」

- ①利用者個々に応じた日常生活全般の相談・援助活動
- ②サービス等利用計画の作成に関する活動

③地域福祉サービス事業所の情報を適正に利用者等に提供する

④地域の各関係諸団体との連携を密にすると共に情報・啓蒙活動に努め対象者の拡大を図る

⑤障害支援区分認定調査の実施

(ウ)就業・生活支援センター「くしろ・ねむろ障がい者就業・生活支援センターぷれん」

①就労に関わる様々な相談・支援活動

②生活面の相談・支援活動

③地域就労ネットワークの構築

④就労支援研修会の実施

(エ)ジョブコーチ支援事業

①職場での就労または職場適応に課題を有する障害者へ障害特性を踏まえた直接的、専門的な援助を行う。

②障害者雇用に不安を抱く企業に対して障害者への指導に関することや雇用管理への助言等を行い雇用の促進と安定を援助する

(オ)就労移行支援事業 くしろジョブトレーニングセンター あらんじえ

①作業支援を通じた職業訓練

②職業準備支援を通じた職業訓練

③社会生活技能支援を通じた対人技能訓練

④就業を踏まえた生活支援

一般企業への就職斡旋

継続的定着支援の提供

職業適性に応じた職場開拓の実施

(カ)就労継続支援B型事業 くしろジョブコミュニケーションセンター れぼぜ

①作業支援を通じた職業訓練

②社会生活支援を通じた対人技能訓練

③社会自立を目指した生活支援

(キ)自立訓練事業 くしろジョブリカバリーセンター ぷろぐれ

①社会復帰したいという希望のある高次脳機能障害の方に受傷・病状に応じた支援・トレーニングを行う。

②職場復帰に向けた職場環境の調整

(3)その他

①会議

・各部門会議を定期的に実施し支援の充実を図る

・利用者の包括的な支援を目指し関係諸団体と利用者ケース会議を実施する

・各自立支援協議会、専門部会への参加

②研修

・研修会を開催し支援技術・資質の向上を目指す

・支援の知識・技能を高めるための各種研修会への参加及び先進的な取り組みを行っている機関、施設の見学を積極的に行う

社会福祉法人釧路のぞみ協会 くしろジョブトレーニングセンター あらんじえ

平成30年3月31日現在

【就労移行支援事業】

1.職員の状況

職種	施設長	サービス 管理 責任者	職業 指導員	生活 支援員	就労 支援員
常勤	1	1	1	0	2
非常勤			14	2	7
合計	1	1	15	2	9

2.利用者の状況

(1)在籍者数

定員	現員
36名	57名

(2)退所の状況(人)

本年度中の 退所者数	移行先		
	一般就労	就労継続A型	その他
42	34	1	7

(3)障害の状況

①障害種別

種別	身体障害	知的障害	精神障害	その他
人数	4	15	23	15
計	4	15	23	15

③健康管理实施状况

実施項目	実施日	対象者数(人)
インフルエンザ予防接種	2017年11月27～29日	69

3.事業実施状況

営業日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
利用のべ人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
	783	798	790	881	754	761	864	921	968	900	809	806	10,035
主な活動	職業準備訓練												
	職業適性検査・製品製造・接客・グループワーク・職場実習												

4.防災

(1)防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	実施時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	5月 11月	地震 火災	10:30	想定		○	避難手順の説明を行なう
避難訓練	7月	地震 火災	日中	想定	○	○	防災センターで実施 指導員の講習受講

5.主要行事

4月		10月	動物園見学(バティック班) 買い物レクリエーション(アラーフア班)
5月	動物園見学(バティック班)	11月	DVD鑑賞(バティック班) カラオケ、焼肉(べじぶる)
6月	動物園見学(べじぶる) 遊学館見学(バティック班)	12月	外食レクリエーション(バティック班) クリスマス会(アラーフア班)
7月	サンアビリティー釧路(バティック班) 漫画喫茶(アラーフア班)	1月	湿原の風アリーナでスポーツ(べじぶる) ウインドショッピング(バティック班)
8月	白糠恋問い館見学(バティック班)	2月	調理実習(バティック班)
9月	ボーリング(べじぶる) 調理実習(バティック班) 湿原の風(アラーフア班)	3月	図書館他見学(バティック班) 漫画喫茶(アラーフア班)

6.虐待防止に関する取組み

(1)施設内研修

開催日	内容
平成29年4月12日	虐待防止に係わる取組み全般についての研修

(2)外部講師を招聘しての研修

開催日	内容
平成29年4月12日	釧路市虐待防止センターから講師として木村海成 氏を招聘し事例検討から見える虐待防止についての講演
平成29年5月17日	地域生活支援センター ハート釧路 所長 佐々木寛 氏を招聘し「選ばれる支援者になるには」と虐待防止の視点からの講演

7.研修関係

(1)外部講師を招聘しての研修

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成29年 4月19日	SST各部門・実施に関する 演習・アドバイス	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	全職員

平成29年 5月17日	選ばれる支援者になるには	佐々木 寛 氏 (地域生活支援センター ハート釧路 所長)	全職員
平成29年 8月23・24日	MWSの活用・ETT研修 ACT基礎理論	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記 氏	各作業班
平成29年 10月14日	SST各部門・実施に関する 演習・アドバイス	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	各作業班
平成29年 11月25日	ACT研修会/心理教育 活力ある生活をめざして	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記 氏	各作業班

(2)施設外研修実施状況（各事業委託を含む）

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成29年 4月20日	SSTスキルアップ研修 (ステップバイステップ方式) 釧路プリンスホテル	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	56名
平成29年 6月4日	釧路市就労移行支援充実強化事業 生き活きと働くために 釧路プリンスホテル	(社福)福祉楽団 理事長 (株)恋する豚研究所 代表取締役 飯田大輔 氏	121名
平成29年 7月22・23日	TTAP実践報告会 釧路プリンスホテル	早稲田大学教育学部教育心理学 専攻 教授 梅永雄二 氏	79名
平成29年 8月23・24日	ACT研修会 釧路プリンスホテル	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記 氏	名
平成29年 9月23・24日	ジョブコーチ実践フォーラム 釧路町保健福祉センター	大妻女子大学 人間関係学部 人間福祉学科 人間福祉学専攻 教授 小川 浩 氏	72名
平成29年 10月15日	怒りのマネジメント研修 釧路プリンスホテル	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	66名
平成29年 11月26日	ACT研修会 釧路キャッスルホテル	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記 氏	56名

8.定例職員研修・会議・ケースカンファレンス開催状況（毎週水曜日）

実施日	種別	主な議題・テーマ等
4月	5日 会議	今年度の職員研修について
	12日 会議	法人/就業規則等について
	26日 会議 カンファレンス	4月支援計画立案内容説明・利用半年未満者のケース会議
5月	3日 研修	障害基礎年金について
	10日 研修	TTAPの基本について(復命研修)
	17日 研修	TTAPフォーマル検査実施報告
	24日 会議 ケース	実習生TTAP支援計画・個別支援計画検討
	31日 会議 カンファレンス	5月支援計画立案内容説明・利用半年未満者のケース会議
6月	7日 会議	車両事故の検証
	21日 会議 ケース	6月個別支援計画検討
	28日 会議 カンファレンス	SST研修前日打合せ・利用半年未満のケース会議

7月	5日	研修	TTAP復命研修
	12日	研修	ビジネスマナー研修
	19日	会議 ケース	7月個別支援計画検討
	26日	会議 カンファレンス	利用半年未満者のケース会議
8月	2日	研修	ACTの復習
	8日	研修	ACTビデオ鑑賞
	16日	カンファレンス	ケース検討会議
	30日	会議 カンファレンス	8月個別支援計画・利用半年未満者のケース会議
9月	6日	研修	9/12・SST研修について JC-NET発達障害者就労セミナーについて
	13日	研修	ACTの復習
	20日	会議 ケース	9月個別支援計画
	27日	会議 カンファレンス	利用半年未満者のケース会議
10月	4日	研修	Vineland- II 復命研修
	11日	研修	SST(9/12)の振り返り
	18日	会議 ケース	10月個別支援計画
	25日	会議 カンファレンス	10月利用半年未満のケース会議
11月	1日	研修	CSAWIについて
	8日	研修	職場開拓について
	15日	会議	ACT事前研修
	22日	会議 ケース	11月個別支援計画
	29日	会議 カンファレンス	11月利用半年未満のケース会議
12月	6日	会議	古帰り
	13日	会議	年度末振り返り(入力)
	20日	会議 カンファレンス	12月個別支援計画 利用期間残り半年未満者のケース会議
	27日	会議	年度末担務振り返り(担務振り返りのまとめの全体発表)
1月	10日	会議	年度末振り返り発表
	17日	会議	年度末振り返り(各班・各係別)
	24日	会議 カンファレンス	12月個別支援計画 利用半年未満者のケース会議
	31日	会議	運営計画振り返り(課・係の計画発表)
2月	7日	研修	新年度 各班・各部門の計画立案
	14日	研修	新年度 各班・各部門の計画発表
	21日	会議 カンファレンス	2月個別支援計画
	28日	会議 カンファレンス	利用半年未満者のケース会議
3月	7日	会議	送迎アンケート結果の説明
	14日	会議	決裁・閲覧体制の変更について
	21日	会議 カンファレンス	・個別支援計画4月開始の方のケース会議 ・利用半年を切った方のケース会議
	28日	作業	・新年度に向けた引継ぎ ・新帳簿の作成

社会福祉法人釧路のぞみ協会 くしろジョブコミュニケーションセンターれぽぜ

平成30年3月31日現在

【就労継続支援B型事業】

1.職員の状況

職種	施設長	サービス 管理 責任者	生活 支援員	目標工賃 達成 指導員	職業 指導員	調理員
正規	1	1		1	2	
非正規			2		6	1
合計	1	1	2	1	8	1

2.利用者の状況

(1)年齢別在籍者数

定員	現員	平均年齢			最高齢	最年少
33名	42名	男 37歳	女 47歳	全体 42歳	70歳	17歳

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	計(人)
男	2	11	5	1	4	3	1	0	27
女	0	2	4	4	1	3	0	0	14

(2)上記利用者在籍期間

期間	1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～25年 未満	25～30年 未満	30年以上	計(人)
男	4	2	7	14						27
女	1	2	5	6						14

(3)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場			
		家庭	他事業所	就労	その他
男	5	1	4		
女	1			1	

(4)障害の状況

①障害支援区分

区分	1	2	3	4	5	6	その他
男	0	5	6	3	0	0	14
女	0	3	2	2	0	0	8
計	0	8	8	5	0	0	22

②健康管理実施状況

実施項目	実施日	対象者数(人)
インフルエンザ予防接種	平成29年11月27日	35

(5)事業実施状況

営業日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
利用のべ人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
	647	699	697	690	697	699	712	687	713	695	646	715	8,297
主な活動	シール貼り、段ボール折り、ネジ磨き、お菓子箱折り、ポスティング、贈答用箱折り												

3.防災

(1)防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	実施時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	5月 11月	地震 火災	10:30	想定		○	避難手順の説明を行なう
避難訓練	7月	地震 火災	日中	想定	○	○	防災センターで実施 指導員の講習受講

4.主要行事

4月	運動/レクリエーション	10月	動物園/レクリエーション 運動/レクリエーション
5月	花見/レクリエーション	11月	
6月	運動/レクリエーション	12月	クリスマス会、運動/レクリエーション
7月	焼き肉/レクリエーション	1月	
8月	運動/レクリエーション	2月	運動/レクリエーション
9月		3月	

5.虐待防止に関する取組み

(1)施設内研修

開催日	内容
平成29年4月12日	虐待防止に係わる取組み全般についての研修

(2)外部講師を招聘しての研修

開催日	内容
平成29年4月12日	釧路市虐待防止センターから講師として木村海成 氏を招聘し事例検討から見える虐待防止についての講演
平成29年5月17日	地域生活支援センター ハート釧路 所長 佐々木寛 氏を招聘し「選ばれる支援者になるには」と虐待防止の視点からの講演

6.研修関係

(1)外部講師を招聘しての研修

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成29年 4月19日	SST各部門・実施に関する 演習・アドバイス	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	全職員
平成29年 5月17日	選ばれる支援者になるには	佐々木 寛 氏 (地域生活支援センター ハート釧路 所長)	全職員
平成29年 8月23・24日	MWSの活用・ETT研修 ACT基礎理論	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記 氏	各作業班
平成29年 10月14日	SST各部門・実施に関する 演習・アドバイス	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	各作業班
平成29年 11月25日	ACT研修会/心理教育 活力ある生活をめざして	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記 氏	各作業班

(2)施設外研修実施状況（各事業委託を含む）

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成29年 4月20日	SSTスキルアップ研修 (ステップバイステップ方式) 釧路プリンスホテル	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	56名
平成29年 6月4日	釧路市就労移行支援充実強化事業 生き活きと働くために 釧路プリンスホテル	(社福)福祉楽団 理事長 株恋する豚研究所 代表取締役 飯田大輔 氏	121名
平成29年 7月22・23日	TTAP実践報告会 釧路プリンスホテル	早稲田大学教育学部教育心理学 専攻 教授 梅永雄二 氏	79名
平成29年 8月23・24日	ACT研修会 釧路プリンスホテル	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記 氏	名
平成29年 9月23・24日	ジョブコーチ実践フォーラム 釧路町保健福祉センター	大妻女子大学 人間関係学部 人間福祉学科 人間福祉学専攻 教授 小川 浩 氏	72名
平成29年 10月15日	怒りのマネジメント研修 釧路プリンスホテル	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	66名
平成29年 11月26日	ACT研修会 釧路キャッスルホテル	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記 氏	56名

7.定例職員研修・会議・ケースカンファレンス開催状況（毎週水曜日）

実施日	種別	主な議題・テーマ等
4月	5日 会議	今年度の職員研修について
	12日 会議	法人/就業規則等について
	26日 会議 カンファレンス	4月支援計画立案内容説明・利用半年未満者のケース会議
5月	3日 研修	障害基礎年金について
	10日 研修	TTAPの基本について(復命研修)
	17日 研修	TTAPフォーマル検査実施報告
	24日 会議 ケース	実習生TTAP支援計画・個別支援計画検討

	31日	会議 カンファレンス	5月支援計画立案内容説明・利用半年未満者のケース会議
6月	7日	会議	車両事故の検証
	21日	会議 ケース	6月個別支援計画検討
	28日	会議 カンファレンス	SST研修前日打合せ・利用半年未満のケース会議
7月	5日	研修	TTAP復命研修
	12日	研修	ビジネスマナー研修
	19日	会議 ケース	7月個別支援計画検討
	26日	会議 カンファレンス	利用半年未満者のケース会議
8月	2日	研修	ACTの復習
	8日	研修	ACTビデオ鑑賞
	16日	カンファレンス	ケース検討会議
	30日	会議 カンファレンス	8月個別支援計画・利用半年未満者のケース会議
9月	6日	研修	9/12・SST研修について JC-NET発達障害者就労セミナーについて
	13日	研修	ACTの復習
	20日	会議 ケース	9月個別支援計画
	27日	会議 カンファレンス	利用半年未満者のケース会議
10月	4日	研修	Vineland-Ⅱ 復命研修
	11日	研修	SST(9/12)の振り返り
	18日	会議 ケース	10月個別支援計画
	25日	会議 カンファレンス	10月利用半年未満のケース会議
11月	1日	研修	CSAWIについて
	8日	研修	職場開拓について
	15日	会議	ACT事前研修
	22日	会議 ケース	11月個別支援計画
	29日	会議 カンファレンス	11月利用半年未満のケース会議
12月	6日	会議	古帰り
	13日	会議	年度末振り返り(入力)
	20日	会議 カンファレンス	12月個別支援計画 利用期間残り半年未満者のケース会議
	27日	会議	年度末担務振り返り(担務振り返りのまとめの全体発表)
1月	10日	会議	年度末振り返り発表
	17日	会議	年度末振り返り(各班・各係別)
	24日	会議 カンファレンス	12月個別支援計画 利用半年未満者のケース会議
	31日	会議	運営計画振り返り(課・系の計画発表)
2月	7日	研修	新年度 各班・各部門の計画立案
	14日	研修	新年度 各班・各部門の計画発表
	21日	会議 カンファレンス	2月個別支援計画
	28日	会議 カンファレンス	利用半年未満者のケース会議
3月	7日	会議	送迎アンケート結果の説明
	14日	会議	決裁・閲覧体制の変更について
	21日	会議 カンファレンス	・個別支援計画4月開始の方のケース会議 ・利用半年を切った方のケース会議
	28日	作業	・新年度に向けた引継ぎ ・新帳簿の作成

社会福祉法人釧路のぞみ協会 自立センター くしろジョブリカバリーセンターぷろぐれ

平成30年3月31日現在

【自立訓練事業(生活訓練)】

1.職員の状況

職種	施設長	サービス 管理 責任者	生活 支援員
正規	1	1	1
非正規			
合計	1	1	1

2.利用者の状況

(1)年齢別在籍者数

定員	現員	平均年齢			最高齢	最年少
7名	9名	男 45歳	女 38歳	全体 43歳	57歳	22歳

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	計(人)
男		1	1	2	3				7
女			2						2

(2)上記利用者在籍期間

期間	1年未満	1～2年 未満	2～3年 未満	計(人)
男	2	3	2	7
女	0	0	2	2

(3)利用の状況(人)

	前年度から 継続利用	本年度中の 新利用者数	利用前の生活の場				
			家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	3	4	7				
女	2		2				

※その他の内訳()

(4)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場					次年度 継続通所
		家庭	他施設	病院	グループホーム	その他	
男	5		4	1			6
女	1						1

※その他の内訳()

(5)障害の状況

①障害種別

	身体障害	精神障害	知的障害	発達障害	その他
男	1	9			

女	1				
計	2	9	0	0	0

※自立支援医療受給者証保持者 2人

②健康管理実施状況

実施項目	実施日	対象者数(人)
インフルエンザ予防接種	2017/11/27,28	9

(6)利用者状況

定員	現員	障害 程度 区分	区分	1	2	3	4	5	6	その他	計	
7名	11名		男			1	2				0	3
			女			2						2
			計	0	0	3	2	0	0	0	0	5

(7)事業実施状況

営業日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(日)
	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
利用のべ人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(人)
	124	125	112	130	144	110	120	125	116	101	94	116	1,417
主な活動	評価(心身機能、活動、参加、環境因子、個人因子、職業適性など)と個別プログラムの立案、心身機能の維持、向上に向けた練習・ADLやIADLの練習・余暇活動の提供・職業準備性向上に向けたトレーニング・心理教育・家族懇談会など												

3.主要行事

4月	4/27 調理レク(ホットケーキ)	10月	10/25 家族懇談会
5月	5/19 れぼぜ・ぷあぷ合同お花見レク	11月	11/8 避難訓練(施設内訓練) 11/27 調理レク(お好み焼き)
6月	6/22 外出レク(こち亀展覧会) 6/27 運動レク(サンアビリティくしろ)	12月	12/18 クリスマス会 12/26 運動レク(サンアビリティくしろ)
7月	7/6 防災訓練(防災庁舎) 7/11 焼肉レク(千代の浦)	1月	1/31 運動レク(サンアビリティくしろ)
8月		2月	2/26 運動レク(サンアビリティくしろ)
9月	9/29 調理レク(餃子、やきそば)	3月	3/26 外出レク(スターバックス)

4.日間計画

9:00～9:30	身だしなみチェック 朝のミーティング スケジュール確認 ラジオ体操 MWT
9:30～10:20	個別訓練
10:30～11:30	フィットネスルーム
11:30～11:45	フリータイム
11:45～12:00	実績記録、移動
12:00～13:00	昼休憩
13:00～14:00	個別訓練
14:00～14:50	集団訓練
14:50～15:15	清掃活動
15:15～	帰りのミーティング MWT
15:30～	終了

5.週間計画

	月	火	水	木	金	土
午前	・9:40～ 個別訓練 ・10:10～ フィットネスルーム	・9:40～ 個別訓練 ・10:10～ フィットネスルーム	・9:40～ 個別訓練 ・10:10～ フィットネスルーム	・9:40～ 個別訓練 ・10:10～ フィットネスルーム	・9:40～ 個別訓練 ・10:10～ フィットネスルーム	・9:40～ 個別訓練 ・10:10～ フィットネスルーム
	・13:00～ 個別訓練 ・14:00～ 集団訓練 (言語訓練)	・13:00～ 個別訓練 ・14:00～ 集団訓練 (SST)		・13:00～ 個別訓練 ・14:00～ 集団訓練 (グループミーティング))	・13:00～ 個別訓練 ・14:00～ 集団訓練 (園舎外)	・13:00～ 個別訓練 ・14:00～ 集団訓練 (予備訓練)

6.虐待防止に関する取組み

(1)施設内研修

開催日	内容
平成29年4月12日	虐待防止に係わる取組み全般についての研修

(2)外部講師を招聘しての研修

開催日	内容
平成29年4月12日	釧路市虐待防止センターから講師として木村海成 氏を招聘し事例検討から見える虐待防止についての講演
平成29年5月17日	地域生活支援センター ハート釧路 所長 佐々木寛 氏を招聘し「選ばれる支援者になるには」と虐待防止の視点からの講演

7.研修関係

(1)外部講師を招聘しての研修

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成29年 4月19日	SST各部門・実施に関する 演習・アドバイス	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	全職員
平成29年 5月17日	選ばれる支援者になるには	佐々木 寛 氏 (地域生活支援センター ハート釧路 所長)	全職員
平成29年 8月23・24日	MWSの活用・ETT研修 ACT基礎理論	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 芻田文記 氏	各作業班
平成29年 10月14日	SST各部門・実施に関する 演習・アドバイス	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	各作業班
平成29年 11月25日	ACT研修会/心理教育 活力ある生活をめざして	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 芻田文記 氏	各作業班

(2)施設外研修実施状況（各事業委託を含む）

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成29年 4月20日	SSTスキルアップ研修 (ステップバイステップ方式) 釧路プリンスホテル	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	56名
平成29年 6月4日	釧路市就労移行支援充実強化事業 活き活きと働くために 釧路プリンスホテル	(社福)福祉楽団 理事長 (株)恋する豚研究所 代表取締役 飯田大輔 氏	121名
平成29年 7月22・23日	TTAP実践報告会 釧路プリンスホテル	早稲田大学教育学部教育心理学 専攻 教授 梅永雄二 氏	79名
平成29年 8月23・24日	ACT研修会 釧路プリンスホテル	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 芻田文記 氏	名
平成29年 9月23・24日	ジョブコーチ実践フォーラム 釧路町保健福祉センター	大妻女子大学 人間関係学部 人間福祉学科 人間福祉学専攻 教授 小川 浩 氏	72名
平成29年 10月15日	怒りのマネジメント研修 釧路プリンスホテル	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	66名
平成29年 11月26日	ACT研修会 釧路キャッスルホテル	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 芻田文記 氏	56名

8.定例職員研修・会議・ケースカンファレンス開催状況（毎週水曜日）

実施日	種別	主な議題・テーマ等
4月	5日 会議	今年度の職員研修について
	12日 会議	法人/就業規則等について
	26日 会議 カンファレンス	4月支援計画立案内容説明・利用半年未満者のケース会議
5月	3日 研修	障害基礎年金について
	10日 研修	TTAPの基本について(復命研修)
	17日 研修	TTAPフォーマル検査実施報告
	24日 会議 ケース	実習生TTAP支援計画・個別支援計画検討
	31日 会議 カンファレンス	5月支援計画立案内容説明・利用半年未満者のケース会議

6月	7日	会議	車両事故の検証
	21日	会議 ケース	6月個別支援計画検討
	28日	会議 カンファレンス	SST研修前日打合せ・利用半年未満のケース会議
7月	5日	研修	TTAP復命研修
	12日	研修	ビジネスマナー研修
	19日	会議 ケース	7月個別支援計画検討
	26日	会議 カンファレンス	利用半年未満者のケース会議
8月	2日	研修	ACTの復習
	8日	研修	ACTビデオ鑑賞
	16日	カンファレンス	ケース検討会議
	30日	会議 カンファレンス	8月個別支援計画・利用半年未満者のケース会議
9月	6日	研修	9/12・SST研修について JC-NET発達障害者就労セミナーについて
	13日	研修	ACTの復習
	20日	会議 ケース	9月個別支援計画
	27日	会議 カンファレンス	利用半年未満者のケース会議
10月	4日	研修	Vineland-Ⅱ 復命研修
	11日	研修	SST(9/12)の振り返り
	18日	会議 ケース	10月個別支援計画
	25日	会議 カンファレンス	10月利用半年未満のケース会議
11月	1日	研修	CSAWIについて
	8日	研修	職場開拓について
	15日	会議	ACT事前研修
	22日	会議 ケース	11月個別支援計画
	29日	会議 カンファレンス	11月利用半年未満のケース会議
12月	6日	会議	古帰り
	13日	会議	年度末振り返り(入力)
	20日	会議 カンファレンス	12月個別支援計画 利用期間残り半年未満者のケース会議
	27日	会議	年度末担務振り返り(担務振り返りのまとめの全体発表)
1月	10日	会議	年度末振り返り発表
	17日	会議	年度末振り返り(各班・各係別)
	24日	会議 カンファレンス	12月個別支援計画 利用半年未満者のケース会議
	31日	会議	運営計画振り返り(課・係の計画発表)
2月	7日	研修	新年度 各班・各部門の計画立案
	14日	研修	新年度 各班・各部門の計画発表
	21日	会議 カンファレンス	2月個別支援計画
	28日	会議 カンファレンス	利用半年未満者のケース会議
3月	7日	会議	送迎アンケート結果の説明
	14日	会議	決裁・閲覧体制の変更について
	21日	会議 カンファレンス	・個別支援計画4月開始の方のケース会議 ・利用半年を切った方のケース会議
	28日	作業	・新年度に向けた引継ぎ ・新帳簿の作成

社会福祉法人釧路のぞみ協会 自立センター グループホームブルミエ

平成30年3月31日現在

【共同生活援助事業】

1.職員の状況

	管理者		サービス管理 責任者		世話人	
	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務
常勤	1		1		12	
非常勤			1			
計	1		2		12	

2.利用者の状況

(1)在籍者数

定員	現員	性別	
38名	37名	男	女
		25名	11名

ホーム名	定員	現員	障がい支援区分		
			区分1及び非該当	区分2	区分3
ブルミエ	5	5	1	1	3
ブルミエドゥ	5	5	4	1	0
ルシエル	4	4	3	0	1
ルシエルドゥ	4	3	2	1	1
ソレイユ	5	5	4	0	1
プレザン	5	4	4	0	0
フェミナン	4	4	1	2	1
フルール	4	4	4	2	0
フルールドゥ	2	2	1	0	0
計	38	36	24	7	7

(2)入所の状況(人)

	前年度から 継続入所	本年度中の 新入所者数	入所前の生活の場				
			家庭	他施設	病院	グループホーム	その他
男	23	3	3				
女	11		2				

※その他の内訳()

(3)退所の状況(人)

	本年度中の 退所者数	退所後の生活の場					次年度 継続入所
		家庭	他施設	病院	グループホーム	その他	
男	1	1	0	0	0	0	26
女	0	0	0	0	0	0	11

※その他の内訳(一人暮らし)

(4) 就労状況

ホーム名	現員	就労状況			
		一般就労	就労継続A型	就労継続B型	就労移行
プルミエ	5	0	0	4	1
プルミエドゥ	5	2	3	0	0
ルシエル	4	2	1	1	0
ルシエルドゥ	4	4	0	0	0
ソレイユ	5	3	1	0	1
プレザン	4	4	0	0	0
フェミナン	4	1	0	3	0
フルール	4	3	0	1	0
フルールドゥ	2	2	0	0	0
計	37	21	5	9	2

3.健康管理

実施項目	実施時期	備考
健康診断	9月～2月	特定健診、、大腸検診等
インフルエンザ予防接種	11～12月	利用者全員
体調不良時通院同行	随時	
服薬管理	随時	
体重・血圧測定	月1回	利用者全員
ダイエット支援	随時	対象利用者

4.防災対策

(1)防災訓練の実施状況

訓練の名称	実施月	想定災害	設定時間帯	訓練内容			
				通報	消火	避難	詳細
避難訓練	8月	地震 火災	日中	○	○	○	津波を想定し避難場所まで移動
避難訓練	2月	火災	夜間	○	○	○	世話人不在時の設定

5.行事・余暇支援

実施日	行事	利用者数	同行職員数	行先等
H29.7.14～7.16	グループホーム旅行	37	13	ルスツリゾート・定山溪・札幌
H29.12.8	忘年会	38	21	法人役員2 ご家族4
H30.1.19～1.20	グループホーム新年旅行	12	6	阿寒湖畔
H30.2.10	ボウリングレクリエーション	9	2	Xボウル、昼食
H30.3.29	焼肉レクリエーション	31	18	ウエスタン入江町

6.虐待防止に関する取組み

(1)施設内研修

開催日	内容
平成29年4月12日	虐待防止に係わる取組み全般についての研修

(2)外部講師を招聘しての研修

開催日	内容
平成29年4月12日	釧路市虐待防止センターから講師として木村海成 氏を招聘し事例検討から見える虐待防止についての講演
平成29年5月17日	地域生活支援センター ハート釧路 所長 佐々木寛 氏を招聘し「選ばれる支援者になるには」と虐待防止の視点からの講演

7.研修関係

(1)外部講師を招聘しての研修

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成29年 4月19日	SST各部門・実施に関する 演習・アドバイス	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	全職員
平成29年 5月17日	選ばれる支援者になるには	佐々木 寛 氏 (地域生活支援センター ハート釧路 所長)	全職員
平成29年 8月23・24日	MWSの活用・ETT研修 ACT基礎理論	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記 氏	各作業班
平成29年 10月14日	SST各部門・実施に関する 演習・アドバイス	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	各作業班
平成29年 11月25日	ACT研修会/心理教育 活力ある生活をめざして	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記 氏	各作業班

(2)施設外研修実施状況（各事業委託を含む）

実施日	研修名・場所	講師	参加人数
平成29年 4月20日	SSTスキルアップ研修 (ステップバイステップ方式) 釧路プリンスホテル	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	56名
平成29年 6月4日	釧路市就労移行支援充実強化事業 生き活きと働くために 釧路プリンスホテル	(社福)福祉楽団 理事長 (株)恋する豚研究所 代表取締役 飯田大輔 氏	121名
平成29年 7月22・23日	TTAP実践報告会 釧路プリンスホテル	早稲田大学教育学部教育心理学 専攻 教授 梅永雄二 氏	79名
平成29年 8月23・24日	ACT研修会 釧路プリンスホテル	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記 氏	名
平成29年 9月23・24日	ジョブコーチ実践フォーラム 釧路町保健福祉センター	大妻女子大学 人間関係学部 人間福祉学科 人間福祉学専攻 教授 小川 浩 氏	72名
平成29年 10月15日	怒りのマネジメント研修 釧路プリンスホテル	土屋 徹 氏 (Office夢風舎 舎長)	66名
平成29年 11月26日	ACT研修会 釧路キャッスルホテル	株式会社 スタートライン 障がい者雇用研究室 上席カウンセラー 刎田文記 氏	56名

8.定例職員研修・会議・ケースカンファレンス開催状況（毎週水曜日）

実施日		種別	主な議題・テーマ等
4月	5日	会議	今年度の職員研修について
	12日	会議	法人/就業規則等について
	26日	会議 カンファレンス	4月支援計画立案内容説明・利用半年未満者のケース会議
5月	3日	研修	障害基礎年金について
	10日	研修	TTAPの基本について(復命研修)
	17日	研修	TTAPフォーマル検査実施報告
	24日	会議 ケース	実習生TTAP支援計画・個別支援計画検討
	31日	会議 カンファレンス	5月支援計画立案内容説明・利用半年未満者のケース会議
6月	7日	会議	車両事故の検証
	21日	会議 ケース	6月個別支援計画検討
	28日	会議 カンファレンス	SST研修前日打合せ・利用半年未満のケース会議
7月	5日	研修	TTAP復命研修
	12日	研修	ビジネスマナー研修
	19日	会議 ケース	7月個別支援計画検討
	26日	会議 カンファレンス	利用半年未満者のケース会議
8月	2日	研修	ACTの復習
	8日	研修	ACTビデオ鑑賞
	16日	カンファレンス	ケース検討会議
	30日	会議 カンファレンス	8月個別支援計画・利用半年未満者のケース会議
9月	6日	研修	9/12・SST研修について JC-NET発達障害者就労セミナーについて
	13日	研修	ACTの復習
	20日	会議 ケース	9月個別支援計画
	27日	会議 カンファレンス	利用半年未満者のケース会議
10月	4日	研修	Vineland-Ⅱ復命研修
	11日	研修	SST(9/12)の振り返り
	18日	会議 ケース	10月個別支援計画
	25日	会議 カンファレンス	10月利用半年未満のケース会議
11月	1日	研修	CSAWIについて
	8日	研修	職場開拓について
	15日	会議	ACT事前研修
	22日	会議 ケース	11月個別支援計画
	29日	会議 カンファレンス	11月利用半年未満のケース会議
12月	6日	会議	古帰り
	13日	会議	年度末振り返り(入力)
	20日	会議 カンファレンス	12月個別支援計画 利用期間残り半年未満者のケース会議
	27日	会議	年度末担務振り返り(担務振り返りのまとめの全体発表)
1月	10日	会議	年度末振り返り発表
	17日	会議	年度末振り返り(各班・各係別)
	24日	会議 カンファレンス	12月個別支援計画 利用半年未満者のケース会議
	31日	会議	運営計画振り返り(課・係の計画発表)

2月	7日	研修	新年度 各班・各部門の計画立案
	14日	研修	新年度 各班・各部門の計画発表
	21日	会議 カンファレンス	2月個別支援計画
	28日	会議 カンファレンス	利用半年未満者のケース会議
3月	7日	会議	送迎アンケート結果の説明
	14日	会議	決裁・閲覧体制の変更について
	21日	会議 カンファレンス	・個別支援計画4月開始の方のケース会議 ・利用半年を切った方のケース会議
	28日	作業	・新年度に向けた引継ぎ ・新帳簿の作成

平成29年度における障害者就業・生活支援センター事業
実施状況報告

＜集計期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日＞

- (1) 運営法人名 社会福祉法人釧路のぞみ協会
- (2) センター名 くしろ・ねむろ障がい者就業・生活支援センターぶれん

(3) 実施体制

イ 就業支援担当者

注) 国からの委託（障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業））で配置している者

氏名	主な職歴 (職種のみで可、所属の記載は不要)	保有資格 就業支援の実務経験年数
高谷 さふみ	幼稚園教諭、ジョブコーチ	教員免許、保育士 23年
濱淵 麻友	職業支援員、就業支援員、教員	社会福祉士、精神保健福祉士、教員免許 11年
鈴木 洋介	相談支援員、サービス管理責任者、管理者、相談支援専門員	介護福祉士、社会福祉主事 2年
原田 千春	介護士、職業支援員	介護福祉士 5年

ロ 生活支援担当者

注) 都道府県からの委託（障害者就業・生活支援センター事業（生活支援等事業））で配置している者

氏名	主な職歴 (職種のみで可、所属の記載は不要)	保有資格 生活支援の実務経験年数
森島 貴子	生活支援員	社会福祉士、精神保健福祉士、教員免許 10年
田村 俊輔	ジョブコーチ、職業支援員	教員免許 9年

注) 本報告において収集する支援担当者に関する情報（個人情報）については、障害者就業・生活支援センター事業の実施状況の把握等、適正な運営に資するための参考として利用します。

※イ、ロについて行が不足する場合には、行の追加は行わず、別シート「補足様式」にて登録すること。

ハ 上記イ及びロ以外で配置している支援担当者

(法人負担又は地方自治体からの補助等による)

① 法人内の他業務と兼務で配置している者

0 人

② センター業務専任で配置している者

0 人

(うち地方自治体からの補助等により配置している者)

(0 人)

(0 人)

(4) 法人におけるその他の事業の実施状況（実施している場合のみ記載）

① ジョブコーチ助成金における第1号ジョブコーチの配置及び支援実施状況

配置数 6 人

支援対象者数 57 人

② 障害者の態様に応じた多様な委託訓練の受託実施状況

訓練受講者数 0 人

注) 以下Ⅰ～Ⅵの項目については、当該法人が実施している他の業務の実績ではなく、
障害者就業・生活支援センター事業の実績を記載すること。

Ⅰ 支援対象障害者の状況

(1) 登録状況（障害種別、就業状況）

(人)

	身体障害 (うち重度)	知的障害 (うち重度)	精神障害	その他の障害	合計
在職中	69 25	213 56	156	80	518

求職中	3	0	7	1	6	3	19
その他	34	12	124	24	136	95	389
合計	106	37	344	81	298	178	926

※その他の障害内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
在職中	54	4	3	19	80
求職中	1	1	0	1	3
その他	55	5	2	33	95
合計	110	10	5	53	178

注1) 平成29年度末(平成30年3月末)時点に支援対象として登録している障害者の数を計上する。
四半期報告の第4四半期報告の数値と一致していること。
長期間支援を行っていない者、支援を必要としなくなった者、連絡がとれない者など、登録を取り消した者等は除く。
注2) 「障害種別」及び「就業状況」の区分の仕方については、四半期報告の別添の留意点を確認すること。

(2) 平成29年度中に新規に登録した障害者の数 138 人

(3) 平成29年度新規求職者数（延べ人数） (人)

身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
10	17	14	9	50

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
4	1	0	4	9

注) 四半期報告毎の新規求職者数の合計と一致すること。

(4) 上記(1)の登録者のうち法人内施設の利用者の割合 約 1.166307 割

(5) 支援対象障害者（登録者）の居住地の状況 (人)

①同一市区町村内	778
②同一障害保健福祉圏域内(①を除く)	79
③上記①及び②以外	69
合計	926

注) 上記(1)の合計と数値が一致しているか確認すること。

(6) 上記(2)の新規登録者の利用経路（支援センターを利用するに至った経緯(経路)） (人)

①ハローワーク	46
②地域障害者職業センター	1
③特別支援学校	20
④就労移行支援事業所	8
⑤上記④以外の福祉サービス事業所	9
⑥福祉事務所、市町村役場等行政機関	10
⑦直接利用（家族を含む）	7
⑧上記以外 ※	37
合計	138

注1) 正確な人数の把握が困難な場合は、おおよその数を計上すること。
注2) 上記(2)と合計の数値が一致しているか確認すること。

※「⑧上記以外」の具体的な利用経路

企業、医療機関、一般高等学校、短期大学

Ⅱ 障害者に対する支援の実施状況

(1) 支援対象障害者に対する相談・支援

① 支援対象障害者に対する相談・支援件数(手段別) (件)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
センターへの来所（本人のほか、家族等も含む）	224	531	514	728	1,997

電話・Fax・e-mail（本人、家族等からの電話のほか、センターからの電話も含む）	279	714	554	1,572	3,119
職場訪問（定着支援のほか、職場実習支援を含む）	368	1,621	685	1,187	3,861
家庭・利用施設への訪問	52	221	59	67	399
その他（ハローワークへの同行訪問、各種手続きの支援、ケース会議への参加等）	312	1,031	473	1,387	3,203
合計	1,235	4,118	2,285	4,941	12,579

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
センターへの来所（本人のほか、家族等も含む）	317	21	23	367	728
電話・Fax・e-mail（本人、家族等からの電話のほか、センターからの電話も含む）	269	72	10	1,221	1,572
職場訪問（定着支援のほか、職場実習支援を含む）	339	53	9	786	1,187
家庭・利用施設への訪問	23	11	9	24	67
その他（ハローワークへの同行訪問、各種手続きの支援、ケース会議への参加等）	272	30	22	1,063	1,387
合計	1220	187	73	3,461	4,941

※「その他」の具体的な支援内容

ケース会議への参加、ハローワークへの同行、医療機関への同行、行政窓口への手続き支援

② 支援対象障害者に対する相談・支援件数（内容別） (件)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
就職に向けた相談・支援	607	1,392	847	2,660	5,506
職場定着に向けた相談・支援	345	1,584	890	1,112	3,931
日常生活、社会生活に関する相談・支援	73	370	159	380	982
就業と生活の両方にわたる相談・支援	210	772	389	789	2,160
合計	1,235	4,118	2,285	4,941	12,579

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
就職に向けた相談・支援	544	69	22	2,025	2,660
職場定着に向けた相談・支援	385	65	14	648	1,112
日常生活、社会生活に関する相談・支援	59	15	15	291	380
就業と生活の両方にわたる相談・支援	232	38	22	497	789
合計	1220	187	73	3,461	4,941

注1) 上記①と合計の数値が一致することを確認すること。

また、四半期報告の12か月分の合計の数値と一致していること。

注2) 「就職」「職場定着」「日常生活、社会生活」のいずれかに分類し、分けられない場合のみ「就業と生活の両方にわたる」に分類すること。1回の相談について複数の項目には計上しないこと。

内容別に集計していない場合には、おおよその数値を計上すること。

ただし、日課的に行っている出勤の確認等ごく軽微な電話連絡等は含めないこと。

(2) 個別支援計画の作成状況

(件)

身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
35	77	48	79	239

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
40	6	2	31	79

(3) 地域障害者職業センターへの職業評価依頼件数 (件)

身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
5	33	16	16	70

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
14	0	0	2	16

(4) 併設施設又は提携施設における基礎訓練の実施状況 (件)

身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
7	34	23	25	89

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
21	0	0	4	25

注1) 就労移行支援事業者、就労継続支援事業者、授産施設、更生施設等に依頼して実施した基礎訓練の件数を計上する。

注2) 企業内授産等は、基礎訓練に含むこと。

(5) 職業準備訓練のあっせん状況 (件)

身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
1	3	2	0	6

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
0	0	0	0	0

注) (5)と(6)の合計値が、四半期報告の12月分の合計の数値と一致していること。

(6) 職場実習のあっせん状況 (件)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
X. 職場実習（3日以上3ヵ月以内）	7	10	6	9	32
A. 地域障害者職業センター、職場適応援助者助成金による <u>ジョブコーチ雇用前支援</u>	0	0	0	0	0
B. 職場適応訓練（一般、短期）	0	0	0	0	0
C. 障害者委託訓練「実践能力習得訓練コース」、「知識・技能習得訓練コース（職場実習組込型）」	0	0	1	1	2
D. 精神障害者社会適応訓練	0	0	0	0	0
E. 労働局、都道府県又は市町村が独自施策として講じている職場実習制度	3	21	6	7	37
合計	10	31	13	17	71

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
X. 職場実習（3日以上3ヵ月以内）	8	0	0	1	9
A. 地域障害者職業センター、職場適応援助者助成金による <u>ジョブコーチ雇用前支援</u>	0	0	0	0	0
B. 職場適応訓練（一般、短期）	0	0	0	0	0
C. 障害者委託訓練「実践能力習得訓練コース」、「知識・技能習得訓練コース（職場実習組込型）」	1	0	0	0	1

D. 精神障害者社会適応訓練	0	0	0	0	0
E. 労働局、都道府県又は市町村が独自施策として講じている職場実習制度	7	0	0	0	7
合計	16	0	0	1	17

注1) 「職場実習等」に計上できるものについては、別添の留意点を確認すること。

注2) (5)と(6)の合計値が、四半期報告の12か月分の合計の数値と一致していること。

※上記のいずれにも区分できないものがあれば、具体的な内容、期間、件数等を記載

--

(7) 各種就業支援制度の活用状況

(件)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
①地域障害者職業センター、職場適応援助者助成金によるジョブコーチ支援 (上記(6)Cを含む)	3	27	13	8	51
②障害者試行雇用(トライアル雇用)事業	5	24	9	7	45
③その他の就業支援制度 ※	0	1	0	0	1
合計	8	52	22	15	97

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
①地域障害者職業センター、職場適応援助者助成金によるジョブコーチ支援 (上記(6)Cを含む)	8	0	0	0	8
②障害者試行雇用(トライアル雇用)事業	6	0	0	1	7
③その他の就業支援制度 ※	0	0	0	0	0
合計	14	0	0	1	15

※「その他の就業支援制度」の具体的な内容

特定求職者開発助成金

--

(8) 支援対象障害者の就職件数

①一般事業所への就職件数 (※1ヵ月以上の雇用)

(件)

	身体障害 (うち重度)		知的障害 (うち重度)		精神障害	その他	合計
一般 (30時間以上)	11	(2)	44	(3)	12	6	73
短時間① (20時間以上30時間未満)	1	(0)	6	(0)	8	5	20
短時間② (20時間未満)	0	(0)	1	(0)	1	1	3
合計	12	(2)	51	3	21	12	96

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
一般 (30時間以上)	6	0	0	0	6
短時間① (20時間以上30時間未満)	4	0	0	1	5
短時間② (20時間未満)	0	0	0	1	1
合計	10	0	0	2	12

注1) 「就職件数」の計上の仕方については、別添の留意点を確認すること。(1ヵ月以上の雇用であること等)

注2) 前年度以前に就職し、雇用継続している者の数は含まない。
注3) 四半期報告の12か月分の合計の数値と一致していること。

②就労継続支援雇用型事業所、福祉工場への就職件数

	身体障害		知的障害		精神障害	その他	合計
		(うち重度)		(うち重度)			
一般 (30時間以上)	0	(0)	0	(0)	0	0	0
短時間① (20時間以上30時間未満)	2	(1)	2	(0)	3	3	10
短時間② (20時間未満)	0	(0)	0	(0)	0	1	1
合計	2	(1)	2	0	3	4	11

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
一般 (30時間以上)	0	0	0	0	0
短時間① (20時間以上30時間未満)	1	0	0	2	3
短時間② (20時間未満)	0	0	0	1	1
合計	1	0	0	3	4

③上記①②以外の就職件数

1件

例) 1ヵ月未満の雇用等

(9) 職場定着支援の実施状況

①職場訪問による職場定着支援の実施件数

2717件

注1) 上記(1)②で計上した職場定着に向けた相談・支援のうち、職場訪問により定着支援を行った件数のみを計上すること。
注2) 四半期報告の12か月分の合計の数値と一致していること。

②平成28年4月から平成29年3月までに就職した者のうち、就職後6ヶ月時点及び就職後1年経過時点の在職者数

A. 平成29年4月～平成30年3月までの就職件数 (28年度実績) (件)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他	合計
		(うち重度)		(うち重度)			
一般 (30時間以上)	4	(4)	18	(2)	13	7	42
短時間① (20時間以上30時間未満)	1	(1)	15	(3)	12	2	30
短時間② (20時間未満)	0	(0)	1	(1)	3	0	4
合計	5	(5)	34	6	28	9	76

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
一般 (30時間以上)	3	0	1	3	7
短時間① (20時間以上30時間未満)	0	0	0	2	2
短時間② (20時間未満)	0	0	0	0	0
合計	3	0	1	5	9

注1) 平成26年度年次報告の一般事業所への就職件数(※1ヶ月以上の雇用)と一致していること

B. 上記Aのうち就職後6ヶ月経過時点での在職者数 (人)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
	(うち重度)	(うち重度)			

合計	5	(5)	31	(5)	22	9	67
----	---	-----	----	-----	----	---	----

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
3	0	1	5	9

注1) 障害種別の在職者数合計を記載すること

C. 6ヶ月経過時点の定着率（B／A）（％）

	身体障害		知的障害		精神障害	その他	合計
	(うち重度)		(うち重度)				
合計	100.0%	1	91.2%	0.833333	78.6%	100.0%	88.2%

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
100.0%	#DIV/0!	100.0%	100.0%	100.0%

注1) B欄の合計／A欄の合計 * 100 = 定着率(%)

注2) 小数点第一位まで記入(小数点第二位切り上げ)

D. 上記Aのうち就職後1年経過時点での在職者数（人）

	身体障害		知的障害		精神障害	その他	合計
		(うち重度)		(うち重度)			
合計	5	(5)	31	(5)	19	9	64

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
3	0	1	5	9

注1) 障害種別の在職者数合計を記載すること

E. 1年経過時点の定着率（D／A）（％）

	身体障害		知的障害		精神障害	その他	合計
	(うち重度)		(うち重度)				
合計	1	1	0.911765	0.833333	0.678571	1	0.842105

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
1	#DIV/0!	1	1	1

注1) D欄の合計／A欄の合計 * 100 = 定着率(%)

注2) 小数点第一位まで記入(小数点第二位切り上げ)

F. 平成28年4月～平成29年3月までの就職件数のうち、**雇用契約等により1年以内に離職することが
明白な者を除いた就職件数**（28年度実績）

	身体障害		知的障害		精神障害	その他	合計
		(うち重度)		(うち重度)			
一般（30時間以上）	3	(3)	17	(1)	10	6	36
短時間①（20時間以上30時間未満）	1	(1)	15	(3)	10	2	28
短時間②（20時間未満）	0	(0)	1	(1)	2	0	3
合計	4	(4)	33	5	22	8	67

※その他内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
一般（30時間以上）	2	0	1	3	6
短時間①（20時間以上30時間未満）	0	0	0	2	2

短時間② (20時間未満)		0	0	0	0
合計	2	0	1	5	8

注)上記Aの就職件数から、雇用契約等の内容等により1年以内に離職することが明白な者を除いた就職件数を記載
(1年以内の有期雇用契約であるが、更新規定がある場合等、1年以上引き続き雇用される可能性がある者については件数から除かないこと。)

G. 上記Fのうち就職後1年経過時点での在職者数 (人)

	身体障害 (うち重度)	知的障害 (うち重度)	精神障害	その他	合計
合計	4 (4)	31 (5)	17	8	60

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
2	0	1	5	8

注1) 障害種別の在職者数合計を記載すること

H. 1年経過時点の定着率 (D/A) (%)

	身体障害 (うち重度)	知的障害 (うち重度)	精神障害	その他	合計
合計	100.0% 1	93.9% 1	77.3%	100.0%	89.6%

※その他内訳

発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
100.0%	#DIV/0!	100.0%	100.0%	100.0%

注1) G欄の合計/F欄の合計 * 100 = 定着率(%)

注2) 小数点第一位まで記入(小数点第二位切り上げ)

③定期的な集まり(支援対象障害者同士の交流)開催状況

注) センターの支援対象障害者を対象として取り組んでいることで、センターが主催するものがあれば記載してください。(本人活動支援を含む)※同窓会、茶話会、その他余暇行事等、雇用安定等事業で実施すべきものではないものは除く。

在職者交流会、労働局委託のSST等グループワーク実施

Ⅲ 事業主に対する雇用管理に関する支援の実施状況

(1) 相談・支援を行った事業所数

257 事業所

注) 平成29年度に1回以上相談・支援を行った実事業所数

(2) 相談・支援件数(手段別)

①センターへの来所	165
②電話 (FAX、e-mail等を含む)	751
③企業訪問 (職場開拓、職場定着支援、雇用啓発等を含む)	1,174
④その他 ※ (ケース会議等を通じた支援)	211
合計	2,301

※「その他」の具体的な支援手段

ケース会議、行政委託の就労移行支援充実強化事業研修への参加企業に対しての障害者雇用制殿情報提供

(3) 相談・支援件数（内容別）

①雇入れに関する相談・支援	1,116
②雇用する障害者の職場適応・職場定着に関する相談・支援	1,000
③雇用する障害者の生活面に関する相談・支援	185
④障害者の雇用支援制度に関する相談・支援	0
⑤その他 ※	0
合計	2,301

上記(2)と合計の数値が一致することを確認すること。

注) ①～⑤のいずれかに分類すること。複数項目に渡る場合は主なものに分類し、どれにも当てはまらない場合⑤その他とすること。1回の相談について複数の項目には計上しないこと。
内容別に集計していない場合には、おおよその数値を計上すること。

※「その他」の具体的な支援内容

IV 関係機関との連絡会議の開催状況

(1) 開催回数 注) 個別のケース会議を除く。

① センターが主催

10回

② 他機関が主催するものへの参加

48回

V 支援事例

○ 支援事例について、別添様式により概要をまとめ、添付してください。（1件）

VI 総括

○ 平成29年度における事業の実施状況について総括してください。

今年度は、前年度掲げたように「職場定着支援」と「求職者支援」に重点を置き、支援を行ってきた。定着支援については、次年度の雇用率上昇の周知のほか、引き続き差別解消や合理的配慮への啓蒙を行うとともに、労働局委託のグループワーク事業を活用し、職場適応をすすめる取り組みを続けてきたため、定着支援件数が伸びた。

求職者支援においては、前年度同様アセスメントやマッチングを図っていくために実習を行ってきたとともに、今年度は雇用促進フェア開催年でもあり、企業、ハローワーク、支援機関が連携し就職につなげることができた。また地域の中で、在宅就労の求人が出たことで、障がい特性や地域事情を考慮した就職をすすめることができた。

一方で、精神障害者の職場定着率が前年度に比べ低下した。期間満了の方もいるが、職場環境から体調不良を起こし、離職につながった方が複数いた。共通しているのは、職場実習をしていないことやジョブコーチ等の制度活用をしていない、自己就職をしていることであった。今後は、インテークからアセスメントにいたるまで、そのアセスメント結果を相談者と共有した上での実習や、継続的な相談体制が安定した就労につながるであろうことを共有した上で支援をすすめていくことが課題となる。

別紙 1

障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業）実施結果

受託者名 社会福祉法人 釧路のぞみ協会 くしろ・ねむろ障がい者就業・生活支援センターぷれん

区分	計画内容	具体的実施状況
1 就業支援 の実施 (1) 相談・支援の実施	主任就業支援担当者 1 名、就業支援担当者 3 名（職場定着支援員含）、事務補助員 1 名を配置し、以下の業務を行う ○ 障害者からの相談に応じ、その就業及びこれに伴う日常生活上の問題について、必要な指導及び助言その他の援助を行う。 ○ 地域における定着支援の中核として、企業等からの職場定着や雇用管理等についての相談に対する助言や支援策に対応した他の支援機関等とのコーディネートを行う ○ 事業主に対して障害者の就職後の雇用管理に係る助言等を行う ○ 障害者に対して、職業準備訓練及び職場実習をあっせんする ○ 障害者雇用支援者に関する情報の収集及び提供、障害者雇用支援者に対する研修等を行う。 ○ 職業的障害者特性を明らかにするための職業評価及び検査依頼に応えるため、検査器具を購入し職業評価及び器具検査を実施する ○ 職場定着を図るため、障害者が就職した企業を訪問し職場定着支援を実施する	主任就業支援担当者 1 名（濱淵 麻友）、主任職場定着担当者 1 名（高谷 さふみ）就業支援担当者 2 名（鈴木 洋介、原田 千春）を配置、次の支援を行なった。 ○ 障がい者に対する相談・支援 ・ 登録者数 926 名 ・ 相談件数 12, 579 件 （うち職場定着 3, 931 件） ・ 就職件数 96 件 ・ 主任職場定着支援件数 292 件 ○ 事業主に対する相談支援 ・ 事業者数 257 事業所 ・ 相談支援件数 2, 301 件 ○ 職場実習のあっせん件数 71 件 職業訓練あっせん件数 6 件 ○ 主な相談内容 対象障害者支援 ・ 就職したい ・ 職業の選択が出来ない ・ 職業評価をして欲しい ・ 疾患管理をしたい ・ キャリアアップをしたい ・ 定着に向けた調整 事業主支援 ・ 作業指導の仕方がわからない ・ 障害について理解していないので教えて欲しい ・ 雇用に関する助成金等の情報が欲しい ・ 新規雇い入れをしたい ・ 配置に関する適正をしりたい ・ 合理的配慮の提供義務について ○「第 1 回ぷれん在職者交流会、グループ相談夕食会」

(2) 職場定着促進のための在職者の交流活動の実施	○ 在職中の対象障害者を対象に、グループワーク等で職場での悩み等を話し合う交流の場を定期的に提供し、不適応課題の早期把握・改善を図り職場定着を促進する（年４回）	H29年7月7日 参加障害者 14名 ○「第２回ぷれん在職者交流会、状況報告・相談会」 H29年12月18日 参加障害者5名 ○「第３回ぷれん在職者交流会、状況報告及びフィットネス」 H29年12月23日 参加障害者5名 ○「第４回ぷれん在職者交流会、状況報告・相談会」 H30年3月21日 参加障害者5名
(3) 就業支援担当者の研修等	○ 障害者職業総合センターにおける障害者就業・生活支援センター初任者研修を受講し、業務に必要な知識・スキルを習得する（就業支援担当者２名） ○ 障害者就業・生活支援センターブロック別経験交流会議に出席し、他のセンターとの交流・情報交換を行う（就業支援担当者２名） ○都道府県就業・生活支援センター連絡会議（２回）に参加し現状と課題の整理を行いセンターの資質を向上させる （主任職場定着担当１名） ○主任職場適応担当者研修に参加し地域の職場定着支援に向け必要な事を理解し資質の向上を図る（主任職場定着担当１名） ○全国就業支援ネットワーク就業・生活支援センター連絡会議へ参加し現状と課題を整理する（主任職場定着担当１名）	○障害者職業総合センターにおける障害者就業・生活支援センター就業担当者研修（平成29年5月23日～26日、平成29年7月25日～7月28日 於千葉県障害者職業総合センター）に就業支援担当者２名出席し、就業支援に必要な基本的知識・スキルを学んだ。 ○障害者就業・生活支援センター北海道・東北ブロック連絡会議（平成28年11月８日、於ホテルポールスター札幌）に就業支援担当者２名が出席し、他のセンターとの交流・情報交換を行った。 ○都道府県障害者就業・生活支援センター連絡会議（平成29年12月15日、於小樽市民センター）に参加し就業・生活支援センターの現状と今後のあり方を検討した。 ○都道府県障害者就業・生活支援センター連絡会議（平成30年3月20日、於北海道労働局）に参加し就業・生活支援センターの現状と今後のあり方を検討した ○主任職場適応担当者研修（平成30年2月8日、於中央労働委員会）に担当者1名が参加し職場適応担当者として必要なマネジメントスキルを学んだ。 ○全国就業支援ネットワーク就業・生活支援センター事業をよりよく考えるためのフォーラム（平成30年2月17日～2月18日 於障害者職業総合センター）に参加し就業・生活支援センターとしての役割について情報交換を行った。

2 関係機関との連絡会議の開催	○TTAP（3デイ）アドバンスワークショップに参加し、自閉症の特性と構造化、具体的方略について学ぶ（主任職場定着担当1名） ○全国就業支援ネットワーク第19回定例研究・研修会に参加し必要とされる内容を学（主任職場定着担当1名） ○TTAP 2Day研修会に参加し、自閉症の特性と構造化、具体的方略について学ぶ（主任職場定着担当1名、主任就業支援担当1名） ○日本職業リハビリテーション学会に参加し対象者が就労場面で必要とされるリハビリテーションに必要な知識・スキルを習得する（主任職場定着担当1名） ○北海道エリア就業支援実践研修精神障害コースに参加し精神障害者の就業支援に必要な支援技法について学ぶ（主任就業支援担当1名） ○第25回職業リハビリテーション研究・実践発表会に参加し対象者が就労場面で必要とされるリハビリテーションに必要な知識・スキルを習得する（主任就業支援担当1名） ○根室障がい福祉計画等圏域	○TTAP（3デイ）アドバンスワークショップ（平成29年5月4日～5月6日、於佐賀市文化会館）に主任職場定着担当1名が参加し、自閉症スペクトラムの移行アセスメントツールの具体的実施方法を学んだ。 ○全国就業支援ネットワーク第19回定例研究・研修会（平成29年6月9日～6月10日、於ホテルコスモスクエア国際交流センター）に主任職場定着担当1名が参加し就業・生活支援センター業務で就労定着支援に必要とされる内容を学んだ ○TTAP 2Day研修会（平成29年6月24日～6月25日、於北斗市総合文化センター）に主任職場定着担当1名、主任就業支援担当1名が参加し、自閉症スペクトラムの移行アセスメントツールの概論と具体的実施方法を学んだ。 ○日本職業リハビリテーション研究実践発表会（平成29年8月25日～26日、於作新学院大学）に主任職場定着担当1名が参加し、各調査研究や実践活動の発表を通じ実践的な知識やスキルを学んだ。 ○北海道エリア就業支援実践研修精神障害コース（平成29年10月26日、於ポリテクセンター北海道）に主任就業支援担当1名が参加し、講義や演習を通して支援技法を学んだ。 ○第25回職業リハビリテーション研究・実践発表会（平成29年11月9日～11月10日、於東京ビックサイト）に主任就業支援担当1名が参加し、各調査研究や実践活動の発表を通じ実践的な知識やスキルを学んだ。 ○根室障がい福祉計画等圏域連絡協議会（平成29年11月1
------------------------	---	--

	連絡協議会に参加し、根室圏域の障がい者保健福祉行政について意見交換しネットワークを築く（主任就業支援担当1名） ○中標津高等養護学校家庭教育学級学習会に参加し、教諭、保護者を対象に、特別支援学校卒業後の進路について学ぶ（主任職場定着担当1名、主任就業支援担当1名、就業担当2名） ○障がい者雇用・就労促進セミナー（職業リハビリテーション学会／第46回北海道大会プレ企画）に参加し、障害者雇用の課題や制度について学ぶ（主任職場定着担当1名） ○JC-NET会議に参加し、就労支援に必要な知識・スキルについて学ぶ（就業担当1名） ○釧路市自立支援協議会、雇用・就労部会を市と共同開催し釧路地域の就労関係者との連携を強化する（年4回）	3日、於中標津町役場）に主任就業支援担当1名が参加し、根室圏域障がい者基幹相談支援センター及び地域生活支援拠点整備等について意見交換しネットワークを構築した。 ○中標津高等養護学校家庭教育学級学習会（平成29年12月8日、於中標津高等養護学校）に主任職場定着担当1名、主任就業支援担当1名、就業担当2名が参加し、卒業生の生活の様子や一般就労向け障がい者制度について学んだ。※主任職場定着担当1名は、講師として出席した。 ○障がい者雇用・就労促進セミナー（職業リハビリテーション学会／第46回北海道大会プレ企画）（平成30年1月27日、於北星学園大学）に主任職場定着担当1名が参加し、障害者雇用・就労の課題や、障害者雇用促進法について、発達障害の就労支援について学んだ。※主任職場定着担当1名は、講師としても出席した。 ○JC-NET会議（平成30年3月10日～11日、於大妻女子大学）に就業支援担当1名が参加し、アセスメントや精神障害の就労支援、ジョブコーチの専門性等、就労支援に必要な知識・スキルについて学んだ。 ○釧路市自立支援協議会、雇用・就労部会は就業・生活支援センターの連絡会議を自立支援協議会に移行した経緯があり、連絡会議と共同開催している。 毎回、地域の就労支援の現状報告、課題の解決にむけてのグループ討議、事例検討など、行政、企業団体、ハローワーク、特別支援学校、職業訓練校、福祉サービス事業所が参加し実施している。 平成29年度の開催は以下の通り 4月18日 参加人数 55名
--	---	---

		6月26日 参加人数 43名 9月 4日 参加人数 44名 2月27日 参加人数 53名
＊ＳＳＴスキルアップ研修会を開催しコミュニケーションに関する認知行動療法の実践を学び対象障害者への相談・指導、企業とのコミュニケーションの取り方について学んだ。 講師：土屋 徹氏（Office 夢風舎）	○ＳＳＴスキルアップ研修会（平成29年4月20日、於釧路プリンスホテル、参加者56名）を開催しコミュニケーションに関する認知行動療法の実践を学び対象障害者への相談・指導、企業とのコミュニケーションの取り方についてstep by step式で学んだ。 講師：土屋 徹氏	
＊ＴＴＡＰ、ＷＡＩＳ研修を開催し就業へスムーズな移行ができるようアセスメントの活かし方の実践、スキルアップを目指し実施する。 講師：梅永 雄二氏（早稲田大学教授） 倉本 義則氏（京都女子大学教授）	○ＴＴＡＰ・ＷＡＩＳ研修会（平成29年7月22日、於釧路プリンスホテル、参加者79名）を開催し自閉症スペクトラムの方達への就業への移行アセスメントの実際について活用方法について実践報告を含めて学んだ。 講師：梅永 雄二氏 倉本 義則氏	
＊道東地域（十勝・釧路・根室・オホーツク）就労支援フォーラムを開催し、障害者雇用の課題と解決策等を講演と事例発表にて学べるよう実施する 講師：渡部 徳智氏（企業） 田村 友朗氏（産業カウンセラー）	○道東地域（十勝・釧路・根室・オホーツク）就労支援フォーラム（平成29年7月27日、於北見市民会館、参加者115名）の共同開催にあたり、担当者2名が参加し地域ネットワークの充実を図った。	
＊ＪＣ－ＮＥＴ発達障害就労支援セミナーを開催し、発達障がい者の雇用のきっかけ、安定に向けての共通理解を図る 講師：小川 浩氏 他	○ＪＣ－ＮＥＴ発達障害就労支援セミナー（平成29年9月23日～9月24日、於あいぱーる 参加者72名）を開催し、基調講演、講義と演習を通して、発達障がい者の雇用のきっかけ、安定に向けての共通理解を図る 講師：小川 浩氏 若尾 勝己氏	

		堀江 美里氏 西田 有吾氏
	*怒りのマネジメント研修会を開催し怒りのマネジメント方法及び相談技術について学びスキルアップを目指し実施する。講師：土屋 徹氏（Office 夢風舎） *ACT研修会を開催し認知機能に偏りがある方への認知行動療法について学び体験的エクササイズについて演習を行った。 講師：勿田文記氏（株式会社スタートライン）	○怒りのマネジメント研修会（平成29年10月15日、於釧路プリンスホテル、参加者66名）を開催し、アンガーマネジメントの手法を用いた相談技術について学ぶ。 講師：土屋 徹氏 ○ACT研修会（平成29年11月26日 於釧路プリンスホテル、参加者56名）を開催し認知機能に偏りがある方への認知行動療法について学び体験的エクササイズについて演習を行った。 講師：勿田文記氏
3 S S T等 を活用したグループワークによる精神障害者等への先進的な職場定着支援事業の実施	精神・発達障害者の職場定着を推進するために、就労中・求職者に対して、グループワークによる課題発生前段階での解決、効率的な職場定着を図る (年10回)	○「第1回 実施テーマ：こんなコミュニケーションが取れたら楽になれるのに…～朝の挨拶の仕方～」 平成29年4月19日 参加障害者数 5名 ○「第2回 実施テーマ：問題解決技能訓練～感謝を伝える～」平成29年6月29日 参加障害者数 5名 ○「第3回 実施テーマ：企業あるある（交渉する）」 平成29年11月30日 参加障害者数 6名 ○「第4回 実施テーマ：長く働き続けるために①～懇親会の時の気配りについて～」 平成29年12月8日 参加障害者数 6名 ○「第5回 実施テーマ：長く働き続けるために②～配慮してほしいことをどう伝えるか？～」 平成29年12月22日 参加障害者数 5名 ○「第6回 実施テーマ：指示をより正確に受け取ろう～企業との相互コミュニケーションを円滑にするために～①発達障害の求職者」 平成30年2月1日 参加障害者数 8名 ○「第7回 実施テーマ：指示をより正確に受け取ろう～

		企業との相互コミュニケーションを円滑にするために～ ②」平成30年2月2日 参加障害者数 8名 ○「第8回 実施テーマ：指示をより正確に受け取ろう～企業との相互コミュニケーションを円滑にするために～ ③」平成30年2月5日 参加障害者数 8名 ○「第9回 実施テーマ：指示をより正確に受け取ろう～企業との相互コミュニケーションを円滑にするために～ 内定者対象」平成30年3月21日 参加障害者数 5名 ○「第10回 実施テーマ：指示をより正確に受け取ろう～企業との相互コミュニケーションを円滑にするために～ 精神障害の求職者」 平成30年3月23日 参加障害者数 12名
--	--	---

社会福祉法人釧路のぞみ協会 指定相談支援事業所 自立センター 事業報告

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

【障害福祉サービス等の利用計画の作成(計画相談支援・障害児相談支援)】

サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援が必要と認められる場合に、障害者(児)の自立した生活を支え、障害者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、
ケアマネジメントによりきめ細かく支援するものです。

① サービス等利用計画	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外
計 画 相 談 受 理 件 数	6	1	5	1	5	2	6	1	5	1	5	3	4	4	4	2	7	1	7	1	9	0	7	0
計 画 案 作 成 件 数	14	0	18	1	18	7	15	0	24	4	18	4	18	3	34	0	37	0	37	0	23	4	20	7
計 画 作 成 件 数 (※)	24	7	25	3	25	3	25	9	23	2	27	6	23	5	19	3	37	1	37	1	34	2	23	3
モニタリング作成件数(※)	28	2	29	3	39	7	38	4	27	12	32	6	35	7	34	22	38	5	38	5	36	8	23	8
基本的な相談として受けている 相談件数(計画相談の請求に関 わらない相談支援件数)	96	11	119	10	161	23	135	16	142	14	143	15	127	19	135	12	111	22	111	22	161	15	184	10
一般的な相談として受けている 相談件数(契約していない方の相 談支援件数)	123	8	96	14	106	1	128	4	65	16	80	8	58	5	59	1	50	0	50	0	85	1	78	4
	291	29	292	32	354	43	347	34	286	49	305	42	265	43	285	40	280	29	280	29	348	30	335	32

4100

② 障害児支援利用計画	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外
計 画 相 談 受 理 件 数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計 画 案 作 成 件 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
計 画 作 成 件 数 (※)	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
モニタリング作成件数(※)	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
基本的な相談として受けている 相談件数(計画相談の請求に関 わらない相談支援件数)	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
一般的な相談として受けている 相談件数(契約していない方の相 談支援件数)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	8	3	5	1	1	1	0	0	0	0	7	1	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	9	

42

○障がい支援区分認定調査

障がい支援区分は、障害の多様な特性その他の心身の状態に応じて必要とされる標準的な支援の度合を総合的に示すもの。市町村がサービスの種類や量などを決定するための判断材料の一つとして、市内の相談支援事業所の認定調査員に委託して、訪問による聞き取り調査を行います。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
釧路市	10	15	18	14	24	15	16	17	23	19	19	15
釧路市以外						1						

(件)

○研修・会議等

研修名称	日付	場所
JC-NET実践フォーラム	9月17日	あいぱーる
相談支援・就業支援セミナー	10月18・19日	東京ファッションタウンビル
TTAP研修会	10月23日	早稲田大学
SSTスキルアップ研修会	11月5・6日	釧路プリンスホテル
職業リハビリテーション研究・実践発表会	11月10・11日	東京ビックサイト

会議名称	頻度	場所
釧路市自立支援協議会・相談支援部会	月1回	市役所
釧路町サービス評価部会	月1回	あいぱーる